

令和4年度  
島原市の教育



国史跡 旧島原藩薬園跡 令和3年度薬園フォトコン  
最優秀「遠く休息地を求めて」吉田 隆

島原市教育委員会



## 市章の由来

市制施行を記念して懸賞募集により、昭和15年4月1日に制定されました。「島原市は山を負い、海に臨む風光明眉の地にして、4個のマを配して“シマ”を表し、円満な市政と市民の協和」を象徴したものです。

## 市民憲章

美しい自然と ゆたかな風土に  
はぐくまれた このしあわせを大切に  
さらに住みよい郷土をつくるため  
私たち島原市民は

— 自然を愛し きれいな街づくりに

つとめましょう。

— お互いに助け合い 明るい社会を

築きましょう。

— 教養ゆたかに 文化を高め

ましょう。

— きまわりを守り よい風習を育て

ましょう。

— 健康で働き 楽しい家庭を

つくりましょう。

(昭和四十九年二月七日制定)

## 島原市民の歌

作詞 宮崎康平  
作曲 古関裕而

一、雲がながれて

おしろやね  
島原城の天守閣から

よるこびも

飛んでくる

春夏秋冬

青い空には

仰ぎましょう

うれしいときも

二、白い朱鸞の

うか  
泛べて香る

よるこびも

湧いてくる

春夏秋冬

澄んだ水には

汲みましょう

こころの生命に

三、光る海から

あの島こえて

よるこびも

吹いてくる

春夏秋冬

薫る風には

歌いましょう

いつも微笑って

夢をよぶ

あの雲仙岳こえて

かなしみも

飛んでくる

島原の

幸せばかり

島原の空を

かなしいときも

花びらを

森の泉に

かなしみも

湧いてくる

島原の

まごころばかり

島原の水を

愛のしるしに

そよ風が

市民の胸に

かなしみも

吹いてくる

ふるさとの

思い出ばかり

島原の風に

みんな元気で

# も く じ

## 1 教育委員会

教育委員会	1
教育方針	2
島原教育振興基本計画	3
教育諸条件の整備目標	4
学校教育の目標	6
社会教育の目標	9
スポーツ推進の目標	12
市勢のあらまし	15
令和4年度島原市一般会計歳出 当初予算における目的別経費の割合	16
教育行政と分掌事務	17
教育委員会の職員数	18

## 2 統計調査

年度別児童生徒数の状況	19
島原市内の各学校一覧表	20
・小学校	20
・中学校	20
・高等学校	20
・各種学校・専修学校	21
・特別支援学校	21
・幼稚園	21
・認定こども園	21
令和3年度高等学校進学状況	22
令和3年度就職先の状況	22
各年度別中学校卒業生・進学者・進学率 一覧表	23
各年度別中学校卒業生の進路状況	24

## 3 学校施設

各小・中学校の建物及び校地の保有面積	25
--------------------	----

## 4 奨学金

貸与型奨学金	26
ふるさとにもどってこね奨学金	26
島原市奨学金の貸付額及び償還額累計	27

## 5 学校教育

【1】 学校の教育目標及び研究主題	28
【2】 島原市適応指導教室	32
【3】 学校給食	34

## 6 学校体育

【1】 目標	36
【2】 中学校部活動実施状況	37

## 7 学校保健

【1】 目標	38
--------	----

## 8 社会教育

【1】 社会教育関係団体	39
(1) 婦人会	39
(2) 青年団	39
(3) 青少年健全育成協議会	39
(4) PTA	39
(5) 子ども会	40
(6) 高齢者団体	40
【2】 公民館活動	41
(1) 各地区公民館の概要	41
(2) 公民館活動の目標	41
(3) 公民館運営計画	41
【3】 公民館利用状況	44
【4】 生涯学習推進	44
(1) 各公民館が開設する各種学級・講座	44
(2) 社会教育課が主催する各種講座	45
(3) 青少年教育	45
(4) 子育て支援	46
(資料) 社会教育委員、各種学級・学習計画	47
【5】 文化財・文化事業	50
(1) 文化財	50
(2) 文化事業	55
【6】 図書館	56
【7】 文化会館	58
【8】 島原市少年センター	59

## 9 スポーツ

【1】 目標	62
【2】 島原市体育施設利用状況	64
【3】 島原市スポーツ少年団	64

## 10 (一財) 島原市教育文化振興事業団

## 11 (一財) 島原市学校給食会

# 1 教育委員会

## ◎ 島原市の教育長及び教育委員（令和4年7月1日現在）

職名	氏名	年齢	就任年月日	任期
教育長	森本 和孝	66	平成 29. 7. 13	令和 2. 7. 13 ～ 令和 5. 7. 12
職務代理者	友永 峰昭	71	平成 31. 4. 1	平成 31. 4. 1 ～ 令和 5. 3. 31
委員	立花 博	69	平成 29. 4. 1	令和 3. 4. 1 ～ 令和 7. 3. 31
委員	村里 亜紀	42	令和 3. 7. 13	令和 3. 7. 13 ～ 令和 7. 7. 12
委員	吉田 光利	64	令和 4. 7. 1	令和 4. 7. 1 ～ 令和 8. 6. 30

## ◎ 島原市の歴代教育委員（教育委員会発足 昭和27年11月1日）

岩本 一男	樋口 正規	北條 成之	田浦 良朗	宮原 照彦
大場 二虎	田浦 英雄	山本 篤五郎	唐津 順子	松本 正弘
小西 弘恵	内田 利通	野村 義文	本多 敏光	森 みずき
宮崎 張夫	平野 進	岩村 俊夫	山崎 幹子	本多 直行
片岡 二三子	宮崎 嵩三	日向 義隆	小峰 忠與士	立花 博（現）
吉田 実雄	吉田 良一	荒木 至	伊藤 官治	友永 峰昭（現）
大町 一郎左衛門	松本 巖	宮崎 郁子	宮崎 金助	村里 亜紀（現）
上田 徳蔵	鐘ヶ江 管一	園田 秀利	谷口 英夫	吉田 光利（現）
林田 俊雄	田近 孝	犬塚 勝次郎	佐藤 利宗	
古賀 茂成	平井 皎	北田 久	清水 充枝	
桑土 三雄	本田 昌弘	奥村 雄紀	井上 莞爾	
生駒 大五郎	酒井 満盛	長池 要七	松島 利彦	

## ◎ 島原市の歴代教育長

氏名	任期
上田 徳蔵	昭和 27. 10. 5 ～ 昭和 31. 9. 30
生駒 大五郎	昭和 31. 10. 1 ～ 昭和 43. 9. 30
松本 巖	昭和 43. 10. 1 ～ 昭和 47. 3. 31
平井 皎	昭和 47. 4. 3 ～ 昭和 59. 9. 30
園田 秀利	昭和 59. 10. 2 ～ 平成 4. 9. 30
職務代理者（高野 博）	平成 4. 10. 1 ～ 平成 5. 3. 31
北田 久	平成 5. 4. 1 ～ 平成 10. 6. 30
小峰 忠與士	平成 10. 7. 1 ～ 平成 14. 6. 30
谷口 英夫	平成 14. 7. 1 ～ 平成 17. 1. 31
職務代理者（坂本 正博）	平成 17. 2. 1 ～ 平成 17. 3. 31
宮崎 金助	平成 17. 4. 1 ～ 平成 21. 3. 31
清水 充枝	平成 21. 4. 1 ～ 平成 25. 7. 10
宮原 照彦	平成 25. 7. 12 ～ 平成 29. 7. 11
職務代理者（松本 正弘）	平成 29. 7. 12 ～ 平成 29. 7. 12
森本 和孝	平成 29. 7. 13 ～ 令和 5. 7. 12

## 島 原 市 教 育 方 針

島原市の教育は、先人が築いた郷土の伝統と文化を継承し、人間尊重の精神と自然に対する畏敬の念を重んじ、社会の変化に対応し世界の平和に貢献できる調和のとれた市民の育成をめざす。

そのためには、噴火災害復興の体験から学んだ「生命・きずな・感謝の心」の精神を引き継ぎ、郷土に誇りをもち、国を愛する心を育てるとともに、心豊かでたくましく生きる子どもたちの育成を図る。

学校、家庭、地域はそれぞれの役割を認識し、一体となって地域の教育力の向上に努め、生涯を通じて学び続けることのできる社会の実現を図る。

とくに、教育に携わるものは、その責任と使命を自覚し、自らの識見を高めるとともに、深い教育愛とすぐれた指導力を身に付け、本市教育の充実と発展に努めなければならない。

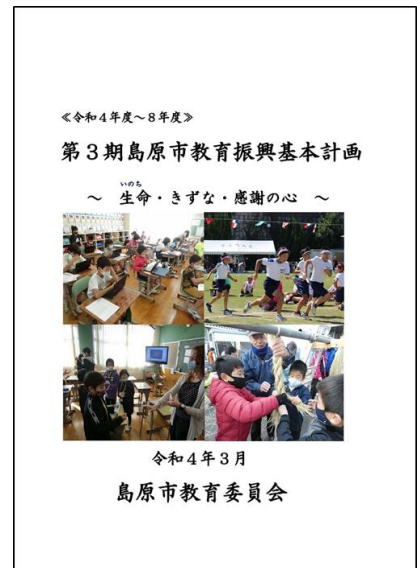
## 島 原 市 教 育 努 力 目 標

- 確かな学力、豊かな心、健やかな体を育成する学校教育の推進
- 子どもから大人まで共に学び、幸福に満ちた地域をつくる生涯学習の推進
- 心豊かでたくましく生きる島原っ子を育む家庭教育の推進
- 伝統と文化を尊重し、郷土を愛する心を育む教育の推進
- スポーツを通じた人づくり、地域づくりの推進

## ◎ 島原市教育振興基本計画

### 1 第3期島原市教育振興基本計画（令和4年度～令和8年度）

平成28年度に策定した第2期の島原市教育振興基本計画の成果と課題を検証するとともに、国の第3期教育振興基本計画や第3期長崎県教育振興基本計画を参酌し、令和元年度に策定された第2期島原市教育大綱及び第7次島原市市勢振興計画との整合性を保ちながら、令和4年度から今後5年の取り組むべき施策を示した、第3期の島原市教育振興基本計画を令和4年3月に策定した。



### 2 島原市の教育施策（第3期島原市教育振興基本計画抜粋）

松平島原藩の初代藩主忠房は、ことのほか学問を奨励し「文武両道こそは藩の基盤である」と自ら講書を開きました。その好学の遺風は後世にも引き継がれ、寛政4（1792）年に発生した未曾有の大災害である島原大變を体験した当時の人々は、早急な復興や将来の国づくりには人材育成こそが急務という思いから、翌年に藩校「稽古館」をいち早く開校し藩士の教育を行いました。島原地方はこうした教育の歴史を有しています。

教育は、郷土や国の将来を左右する最優先の政策課題の一つであり、郷土の発展を担う誇りと責任を自覚し、国際社会でも活躍できる心豊かでたくましく生き抜く力を身に付けた人材を育成していくことが何よりも大事です。

今後も、平成3年の噴火災害から学んだ「生命・きずな・感謝の心」の精神を引き継ぎ、学校・家庭・地域それぞれの教育力を結集して、心豊かで活力ある生涯学習社会の構築と広い視野に立った施策の推進に努めます。

- (1) 確かな学力を身に付けた、心豊かでたくましく生きる子どもの育成
- (2) 豊かな心と郷土愛を育む、強い絆で結ばれた地域づくり
- (3) スポーツを通じた人づくり・地域づくり
- (4) 教育・スポーツ政策推進に向けた基盤整備の推進

## ◎ 教育諸条件の整備目標（安全で安心な教育環境づくり）

学校施設、社会教育施設及びスポーツ施設の整備については、公共施設等総合管理計画を踏まえつつ、緊急性・安全性・必要性等を考慮した計画的な施設整備を行い、よりよい教育環境の充実に努める。

また、GIGAスルール構想を実現するため、教職員・児童生徒が使いやすいICT教育環境の充実に努める

- 安全で快適な教育・スポーツ施設の整備
  - ・学校施設、社会教育施設及びスポーツ施設の整備・充実に努めます。
- 時代ニーズに即した質の高い環境の整備
  - ・教育環境設備及びICT機器等情報教育環境設備の整備・充実に努めます。
- 誰もが安心して学ぶためのセーフティネットの構築
  - ・奨学金制度の適正な運営、推進に努めます。
  - ・準要保護児童生徒援助事業の適正な実施に努めます。
- 新たな感染症への対策
  - ・学校施設、社会教育施設及びスポーツ施設の感染症対策を適切に実施します。

### 教育総務課 事業計画

月	日	事業	備考
4	1	辞令交付（事務局）	
	14	学校配当予算に係る説明会	
	15	第1回長崎県都市教育長協議会（年4回開催）	長崎市
	20	市町村教育委員会連絡協議会総会・研修会	オンライン
		定例教育委員会（毎月1回）	
		総合教育会議（年に数回）	
		ふるさとにもどってこんね奨学生応募受付（6月中）	
		島原市奨学生応募受付（6月中）	
		準要保護児童生徒認定（毎月）	
		公立文教施設台帳審査	長崎市

月	日	事 業	備 考
5	12～13	全国都市教育長協議会定例総会・研究大会	山口県山口市
	中旬	教育基本調査	
	下旬	学校基本調査	
		県下公立文教施設担当者会議	
		県・市町教育委員会合同研修会・教育長分科会	オンライン
6	上旬	「島原市の教育」（教育要覧）作成	
7	中旬	第2回長崎県都市教育長協議会	佐世保市
	下旬	ふるさとにもどってこんね奨学生審議委員会	
		島原市奨学生審議委員会	
		地方教育費調査	
8	上旬	教育委員会事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書の提出	
10	中旬	九州都市教育長協議会定例総会・研究大会	鹿児島県鹿児島市
	下旬	学校配当予算編成	
		新年度予算要求作成	
	31～1	市町村教育委員会研究協議会(全国西日本ブロック大会と共催)	長崎市
11	中旬	次年度準要保護児童生徒入学準備金（新入学用品費）申請手続	
		島原市教育委員会表彰式	
	下旬	第3回長崎県都市教育長協議会	壱岐市
県下都市庶務担当課長会議		長崎市	
1	下旬	新年度教育予算にかかる市長への要望	
		次年度準要保護児童生徒申請手続	
2	初旬	第4回長崎県都市教育長協議会	西海市
	下旬	次年度島原市教育委員会事業計画の策定	
3	初旬	ふるさとにもどってこんね奨学生募集お知らせ（6月まで）	
		島原市奨学生募集お知らせ（6月まで）	



## ◎ 学校教育の目標（生き抜く力を育む人づくり）

学校教育においては、「生命・きずな・感謝の心」の育成を基盤に据え、生涯学習の基礎を培うという認識に立ち、自ら学ぶ意欲をもち、社会の急激な変化に主体的に対応できる、知・徳・体の調和のとれた、心豊かいのちでたくましく生きる児童生徒の育成をめざす。

### ○ 学力向上対策の充実

- ・学力調査の分析結果、学習規律の定着、主体的・対話的で深い学びの視点を意識した授業改善に努めます。
- ・一人ひとりに応じたきめ細かな指導の充実を図ります。
- ・家庭学習や基本的な生活習慣の定着を図り「子どもの学びの習慣化」の確立に努めます。
- ・一人ひとりの実態に応じた支援の充実を図るなど特別支援教育の推進に努めます。

### ○ 地域と連携した豊かな心の育成

- ・「特別の教科道徳」の授業の充実を図り、道徳教育の推進に努めます。
- ・生命の教育に努めます。
- ・読書活動や文化・芸術教育の充実を図ります。
- ・いじめの防止など生徒指導の充実を図ります。
- ・地域の教育力を生かし信頼される学校づくりを推進します。

### ○ 国際化、情報化に対応した人材の育成

- ・ALTの活用や各種コンテストへの参加を推進するなど外国語教育の充実を図ります。

### ○ 健やかな体の育成

- ・学校体育や健康教育、食に関する指導の充実を図ります。
- ・防災教育の推進を図ります。

### ○ 教職員の資質の向上

- ・教職員研修の充実を図り、教師の授業改善など教職員の資質の向上を推進します。
- ・校種間の連携の充実を図ります。
- ・教職員の働き方を見直し、自らの人間性や専門性を高めることで、子どもたちに効果的な教育活動に努めます。

## 学校教育課 事業計画

月	日	事業	備考
毎月		定例校長会	
		定例教頭会	
		教務主任研修会	
		養護教諭部会	
		学校給食献立案作成会	
		就学相談（随時）	
4	1	教職員辞令交付式	有明総合文化会館
	3	会計年度任用職員任用通知書交付式（学教関係）	有明総合文化会館
	7	中学校入学式 14:00（14:20有明中）	
	8	小学校入学式 10:00（9:30高野小・湯江小）	
	19	国・県・市学力調査	
	20	県学力調査（中3英）	
5	15	中学校体育大会（午前開催）	
	22	小学校運動会（午前開催）	
6	3	いのりの日学校訪問	
	11	島原市中体連球技・武道大会（～12日）	
	21	市中体連陸上大会	トランスコスモスタジアム
	23	学校経営訪問（7月まで）	
8	3	ユネスコジオパーク島原市小学生イングリッシュ・デイ・キャンプ	森岳公民館
	4	ユネスコジオパーク島原市中学生イングリッシュ・デイ・キャンプ	森岳公民館
	9	教育講演会（浅野大介氏）	有明総合文化会館
	11	学校閉庁（～16日）	
	18	島原市就学相談（18日・19日・23日・24日）	有明公民館
	23	親子粘土教室	島原復興アリーナ

月	日	事業	備考
9	17	第72回島原市小・中学校合同科学作品展（～18日）	島原文化会館
	中旬	島原市学力向上研修会	杉谷公民館
	28	市中体連駅伝競走大会	島原復興アリーナ周回
10	上旬	学校巡回訪問（11月まで）	
	28	第44回北村西望賞教育美術展審査会	島原文化会館
		学校給食検討委員会	
		就学時健康診断（11月まで）	
11	5	第44回北村西望賞教育美術展（～9日）表彰	島原文化会館
	14	文部科学省指定 三会中学校研究発表会	
1	下旬	ふれあい給食	
3		中学校卒業証書授与式	
		小学校卒業証書授与式	
		小・中学校教職員退職者辞令交付式	

## ◎ 社会教育の目標（豊かな心と郷土愛を育む、強い絆で結ばれた地域づくり）

社会の急速な変化に伴い、少子・高齢化、高度情報化、国際化等、現代的な課題が山積している。教育の分野においても、多様化する人々の学習要求や地域ぐるみの子育てへの対応が求められており、市民一人一人が希望と夢を持てる21世紀の「まちづくり・人づくり」を目指して、本市の歴史と文化を生かし、「大人と子どもが学び合う、心豊かな生涯学習社会」を創造する。

### ○ 「島原市ココロねっこ運動」の推進

- ・学校・家庭・地域が連携・協力して地域全体で子どもを育みます。
- ・子どもの生き抜く力の基礎となる家庭教育の充実を図り、子育てを支援します。
- ・子どもが安全で安心して活動ができる居場所づくりに努めます。

### ○ 公民館活動の推進や社会教育関係団体の活動支援と地域の絆づくりの推進

- ・公民館を拠点として、いつでもどこでも誰でも学べる環境づくりを推進します。
- ・社会教育関係団体の育成を図り、地域に根差した活動を支援します。

### ○ 文化活動の推進と文化の向上

- ・文化団体の自主運営を支援します。
- ・優れた舞台芸術に接する機会を提供するため、自主文化事業の実施に努めます。

### ○ 図書館活動の推進

- ・図書資料の充実、司書業務の充実、利便性の向上を図ります。
- ・子どもの読書活動を推進します。

### ○ 歴史的遺産の保護をとおした郷土を愛する心の育成

- ・旧島原藩薬園跡、肥前島原松平文庫、島原城跡をはじめとする文化財の保護に努めます。
- ・民俗芸能団体が行う伝統文化の継承活動を支援します。

## 社会教育課 事業計画

月	日	事業	備考
4	1	朝のあいさつ運動（毎月1日）	
	中旬	「家庭の日」広報（毎月第3日曜日前の金曜日）	
	中旬	社会教育担当者会（毎月月初）	
	下旬	放課後子ども学習室（年間）	

月	日	事業	備考
5	中旬	肥前島原子ども狂言開講（～10月）	島原文化会館
	中旬	第1回少年センター自転車指導	
	下旬	各種学級講座開講	
	下旬	各地区通学合宿（～9月）	
6	中旬	第1回少年センター補導委員会	
	25	図書ボランティア養成講座	
7	4	第1回少年センター立入調査	
	6	第1回社会教育委員の会	
	19	第1回少年センター運営協議会	
	23	市民文化講座	
	下旬	スクールキッズ	
8	8	第1回公民館運営審議会	
	26	第1回島原図書館協議会	
	下旬	第3回文化財保存活用地域計画作成委員会	
	下旬	第1回文化財保護審議会	
9	11	社会教育講演会	
	上旬	第2回社会教育委員の会	
10	6	市民文化講座	
	19	第60回島原市美術展（～23日）	
	中旬	第3回社会教育委員の会	
11	中旬	第2回少年センター立入調査	
	中旬	第43回島原市民音楽祭（邦楽の部、洋楽の部）	島原文化会館
	中旬	第4回文化財保存活用地域計画作成委員会	
	下旬	第4回社会教育委員の会	

月	日	事業	備考
	下旬	各地区公民館まつり（～2月）	
1 2	上旬	第2回少年センター自転車指導	
	中旬	市民文化講座	
1	3	故郷しまばら二十歳の集い	島原文化会館
	中旬	第2回島原図書館協議会	
	下旬	第2回文化財保護審議会	
2	中旬	第5回社会教育委員の会	
	中旬	第7 2回島原梅林俳句会	
	中旬	第5回文化財保存活用地域計画作成委員会	
	下旬	第2回少年センター補導委員会	
3	上旬	第2回公民館運営審議会	
	中旬	第2回少年センター運営協議会	
	下旬	各種学級講座閉講	

## ◎ スポーツ推進の目標（スポーツを通じた人づくり・地域づくり）

市民一人ひとりが、生涯にわたり心身ともに健康で活力ある生活を営むため、生涯をとおして、いつでも、どこでも気軽にスポーツに親しめるような環境を整えスポーツの振興を図る。

また、生涯にわたる体育・スポーツ活動の基礎づくりとして、スポーツ少年団活動の一層の充実を図る。

さらに、関係機関並びに競技団体と連携しながら、スポーツ人口の拡大と競技力の向上及び指導者の育成を図る。

- ライフステージに応じた生涯スポーツの充実
  - ・子どもから高齢者までスポーツの絆を広げるため、総合型スポーツクラブの充実に努めます。
  - ・スポーツ活動の提供・充実に努めます。
- 夢を育むジュニアスポーツの活性化
  - ・ジュニアスポーツの活性化に努めます。
- スポーツを活用した地域活性化
  - ・国内外のキャンプ・合宿・スポーツ大会等を誘致し、交流人口を拡大することで地域の活性化に努めます。

### スポーツ課 事業計画

月	日	事業	備考
4	1 5	長崎県スポーツ協会第1回生涯スポーツ委員会	長崎県営野球場
		長崎県民体育大会第1回実行委員会	長崎県営野球場
	1 7	第47回市民親睦サッカー大会	平成町多目的広場
	2 8	島原市スポーツ推進委員協議会総会・委嘱状交付式	有明総合文化会館
5	1 1	長崎県スポーツ少年団指導者協議会・事務担当者会	有明庁舎（WEB会議）
	2 3	島原市スポーツ協会第1回理事会・評議委員会	有明総合文化会館
6	9	島原市スポーツ少年団指導者協議会役員会	有明庁舎
	1 8	V・ファーレン長崎島原市サンクスマッチ	トランスコスモスタジアム長崎
	2 3	島原市スポーツ少年団指導者協議会総会	書面開催
	2 9	体力テスト	復興アリーナ

月	日	事 業	備 考
7	1 2	長崎県スポーツコミッション総会	ホテルニュー長崎
	1 5	市民体育祭実行委員会	有明総合文化会館
	1 7	第5 6回島原市民親睦ソフトボール大会	三会ふれあい運動広場
	2 4	第1 3回島原市民親睦ソフトバレーボール大会	霊丘体育館・弓道場
	2 9	平成新山 島原学生駅伝実行委員会	有明庁舎
8	6	第3 5回市長杯少年少女サッカーフェスティバル（～7日）	平成町多目的広場 平成町人工芝グラウンド
	2 4	プロスポーツクラブ長崎自治体連携会議	県庁
	2 6	平成新山島原学生駅伝大会島原市実施委員会	有明庁舎
	2 7	第2 2回島原市少年軟式野球大会	市営球場
9	5	島原市スポーツ協会第2回理事会	本庁舎
	1 6	長崎県民体育大会第2回実行委員会	有明庁舎（WEB会議）
		長崎県スポーツ協会第2回生涯スポーツ委員会	有明庁舎（WEB会議）
	2 6	国民体育大会島原市選手団壮行式	杉谷公民館
1 0	2	市民体育祭各種競技会	市内各会場
	9	市民体育祭大運動会	市営陸上競技場
	上旬	長崎県民体育大会代表者会議	長崎県営野球場
	1 3	J F Aこころのプロジェクト「夢の教室」（～1 4日）	13日：五小 14日：有明中
	1 8	J F Aこころのプロジェクト「夢の教室」（～2 1日）	18日：二中 19日：一小 20日：一小、二小 21日：四小、三会小
	中旬	長崎県体育主管課長会議（～1 5日）	
	2 5	J F Aこころのプロジェクト「夢の教室」（～2 8日）	25日：高野小、湯江小 26日・27日：一中 28日：大三東小
1 1	1	J F Aこころのプロジェクト「夢の教室」（～4日）	1日：三中 2日：三会中 4日：三小
	1 2	第7 2回長崎県民体育大会（～1 3日）	県内各会場
	1 5	島原市スポーツ協会表彰式	



月	日	事 業	備 考
	2 3	福知山マラソン	福知山市
1 2	2	平成新山 島原学生駅伝開会式	島原文化会館
	3	平成新山 島原学生駅伝	市営陸上競技場
	3	島原市スポーツ少年団対抗駅伝大会	
	1 0	第 2 3 回島原市少年ソフトボール大会	有明の森運動場
	1 1	第 4 2 回島原市民親睦テニス大会	市営総合運動公園庭球場
	中旬	第 1 6 回島原半島地区対抗駅伝競走大会	雲仙市・南島原市
	下旬	島原市スポーツ少年団新人大会（バレーボール）	
1	2 8	第 6 5 回九州地区スポーツ推進委員研究大会（～ 2 9 日）	大分県
2	上旬	第 2 回長崎県スポーツ少年団指導者協議会並びに事務担当者会	
		長崎県スポーツ協会生涯スポーツ委員会	
		島原市スポーツ少年団送別大会（バレーボール）	
	1 1	第 5 9 回長崎県スポーツ推進委員研究大会	
	1 9	第 4 5 回島原市民親睦バドミントン大会	
	中旬	第 7 2 回郡市対抗県下一周駅伝大会	
		島原市スポーツ推進委員役員会・評議員会	
		長崎県民体育大会第 3 回実行委員会	
		長崎県スポーツ協会第 3 回生涯スポーツ委員会	
	下旬	第 5 3 回島原市民親睦卓球大会	
島原市スポーツ少年団交流大会（ソフトボール）			
スポーツ国際交流キャンプ			
3	上旬	第 4 2 回有馬スポーツ賞表彰式	有馬武道館
		島原市スポーツ少年団送別・新人大会（サッカー）	
	中旬	島原市スポーツ協会第 4 回理事会	
	下旬	プロスポーツクラブ長崎自治体支援会議	
		長崎県スポーツ協会臨時評議員会	
		島原市スポーツ推進委員協議会及び功労者表彰受賞祝賀会	

## ◎ 市 勢 の あ ら ま し

島原市には、縄文・弥生の古代遺跡が多数あり、遙かな原始・古代からの歴史を有する。

戦国時代には有馬氏の下、キリスト教の信仰が盛んになり、江戸時代に有馬氏転封の後、大和国五条から松倉重政が入封し、元和4年（西暦1618年）から7年の歳月を費やして島原城（別名森岳城）を築城、以後、島原半島の政治、経済、文化の中心的役割を果たしてきた。寛永14年（西暦1637年）には松倉勝家の苛政とキリシタン弾圧に対する「島原・天草一揆」が起こり、一揆軍だけで3万8千人余の犠牲者を出す動乱となった。この後、高力氏が領内復興を図り、その後、松平氏が戸田氏と一時期交替するも明治まで島原を統治した。この間の寛政4年（西暦1792年）には雲仙普賢岳の噴火に伴う眉山の大崩壊が発生し、山崩れと津波により島原領内及び対岸の熊本・天草も合わせて約1万5千人の住民が犠牲になるという災害に見舞われた（島原大変肥後迷惑）。

これら大きな動乱と地変を経て、明治4年（西暦1871年）の廃藩置県により、旧城下町は島原村、島原町、湊町となり、大正13年（西暦1924年）にはこの三者が合併して島原町となる。次いで、昭和15年4月には安中・杉谷の両村を合併し、県下で3番目、全国では153番目の市制を施行し、昭和30年4月には三会村、平成18年1月には有明町と合併し、現在の島原市が誕生した。

平成2年11月に雲仙普賢岳が198年ぶりに噴火、平成3年5月以降、土石流・火砕流による災害が発生し、第四小学校、第五小学校及び第三中学校は仮設校舎での授業を余儀なくされた。

平成8年6月には噴火活動の終息宣言を行い、また、噴火災害に伴う防災事業により、平成10年12月に杉谷公民館、平成12年7月には第四小学校が移転・竣工した。

現在、第一小学校旧校舎、第三小学校旧校舎の改築をはじめ、小・中学校校舎の躯体部分の耐震化を平成24年度で終了し、非構造部材耐震化事業についても、市内全ての学校の体育館を平成27年度で終了し、校舎の外壁部分についても年次計画で進めている。

また、平成の大合併で島原半島は、雲仙市と南島原市を合わせた3つの市として新たにスタートし、3市において、火山活動によって生じた特徴的な自然景観及び地質（ジオ）を一体的な自然公園（パーク）とする「島原半島ジオパーク」の推進を図り、平成21年8月には糸魚川・洞爺湖有珠山と共に日本で最初となる世界ジオパークの認定を受けた。また、平成24年5月には、ジオパーク国際ユネスコ会議を本市で開催するなど、島原半島の自然や景観、歴史、文化など、他の地域にない素晴らしい魅力を発信すると共に、教育活動においてもジオパークに関する学習に取り組んでいる。このような島原市民の人々の熱意や教育プログラムなどのジオパーク活動が評価され、平成30年1月に2回目の再認定となり、今後さらに地域振興への寄与が期待される。

◎ 市の面積

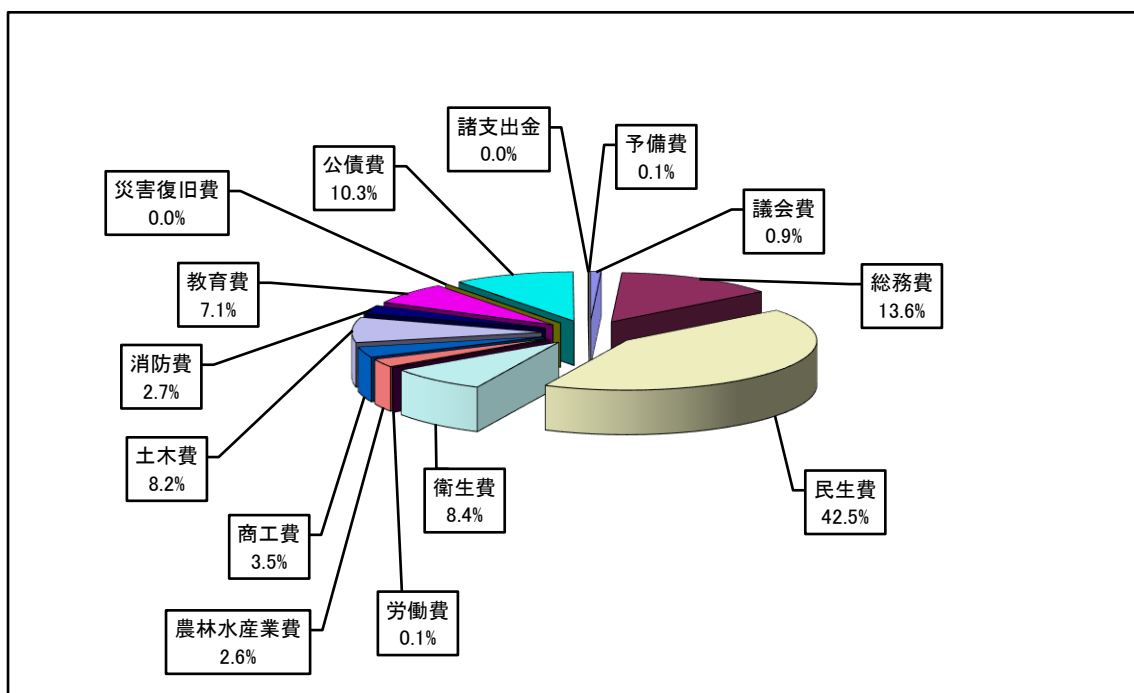
82.96Km<sup>2</sup>

◎ 世帯数, 人口 (令和4年4月30日現在)

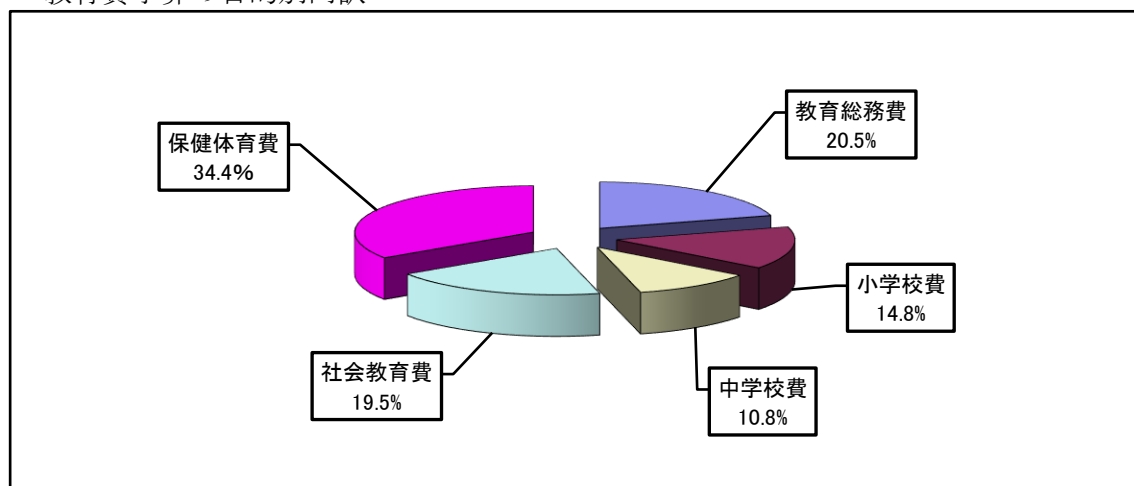
世帯数	人 口			人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
	男	女	計	
19,747	20,235	23,119	43,354	522.6

【令和4年度 島原市一般会計歳出当初予算における目的別経費の割合】

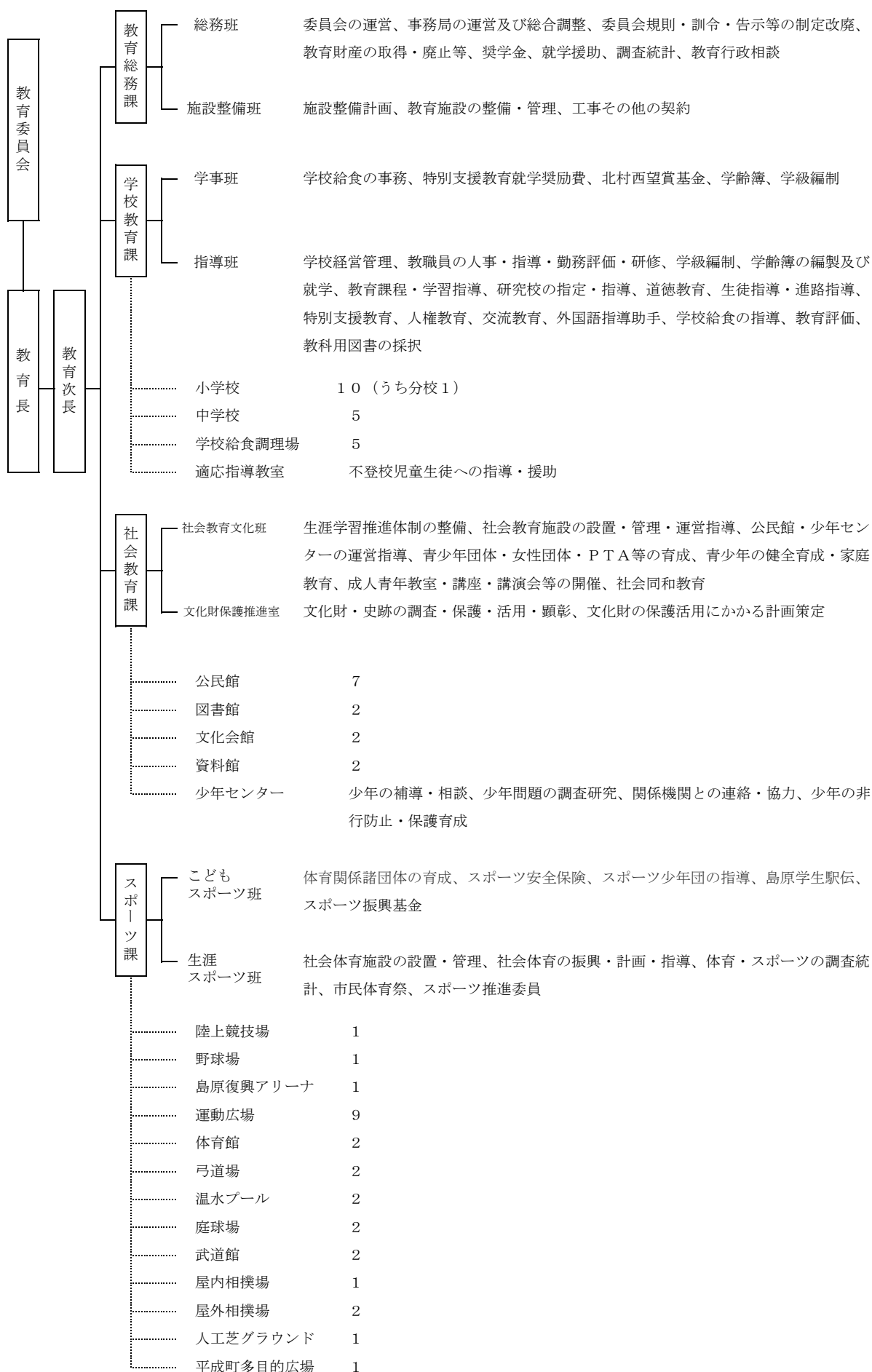
・一般会計歳出予算総額：24,088,000千円 うち、教育費予算：1,703,211千円



・教育費予算の目的別内訳



【教育行政と分掌事務】 (令和4年4月1日現在)



【教育委員会の職員数(教育長・教育次長を除く)】

令和4年4月1日現在

※ ( ) は会計年度任用職員等

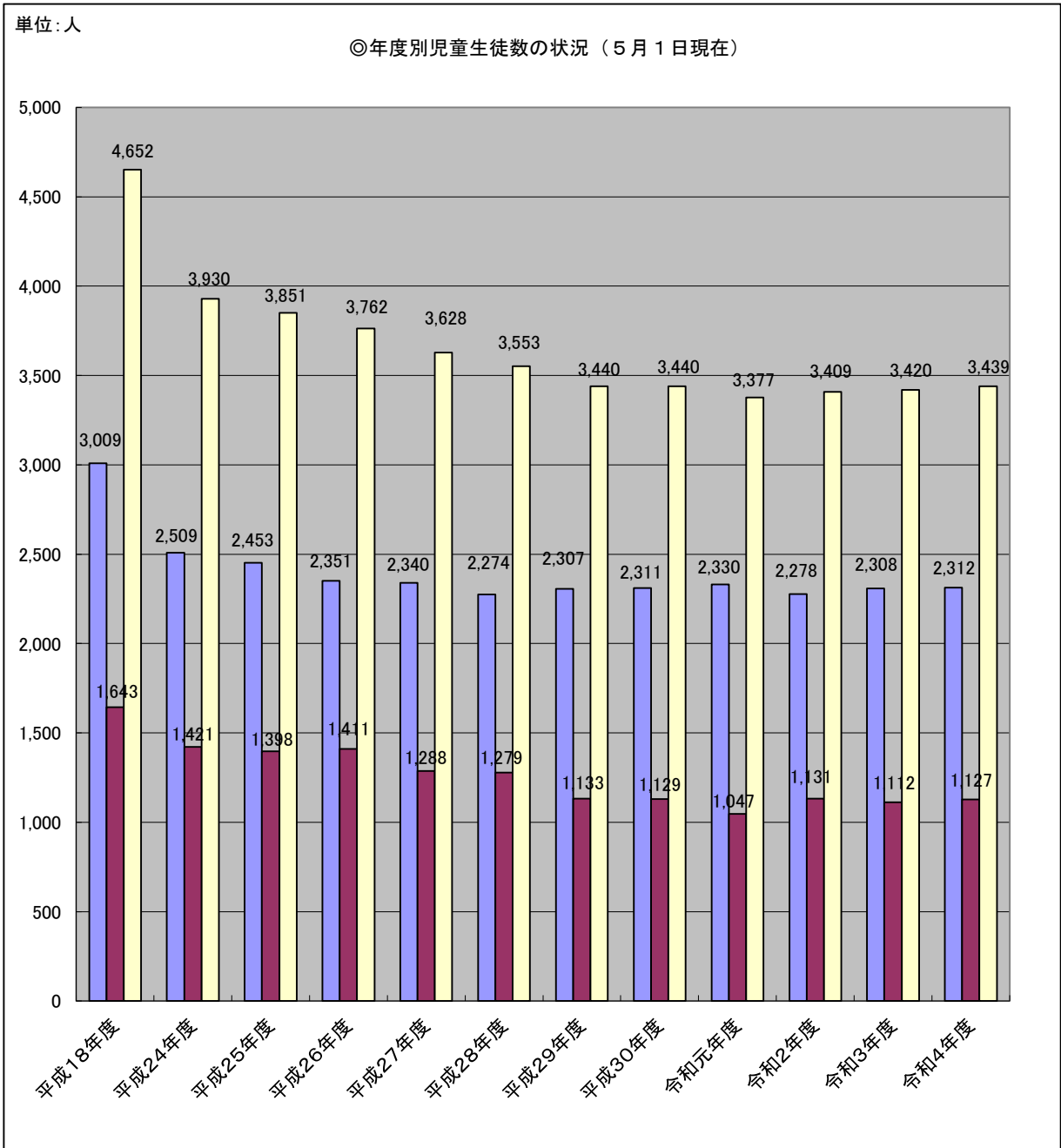
所 属 職種別	教育総務課	学校教育課	社会教育課	スポーツ課	小 学 校	中 学 校	公 民 館	計
課 長	1	1	1	1				4
参 事		1						1
課長補佐	1	4	1	1			1	8
係 長	1		1	1			2	5
主 任	3		2				4	9
主 査	1		3	2				6
主 事				2				2
事務員	1	1	1					3
校務主事					(10)	(5)		(15)
社会教育指導員			(2)					(2)
少年センター 指導監・相談員			(1)					(1)
松平文庫 管理員・技術員			(2)					(2)
事務(技術)員	(3)	(2)		(1)			(7)	(10)
合 計	8(3)	7(2)	9(5)	7(1)	(10)	(5)	7(7)	38(33)
内、指導主 事、社会教育 主事		6	1					7

## 2 統計調査

### ◎年度別児童生徒数の状況（5月1日現在）

※平成18年1月に有明町と合併

	平成18年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
小学校	3,009	2,509	2,453	2,351	2,340	2,274	2,307	2,311	2,330	2,278	2,308	2,312
中学校	1,643	1,421	1,398	1,411	1,288	1,279	1,133	1,129	1,047	1,131	1,112	1,127
合計	4,652	3,930	3,851	3,762	3,628	3,553	3,440	3,440	3,377	3,409	3,420	3,439



◎島原市内の各学校一覧表（令和4年5月1日現在）

市立小・中学校

○小学校（10）	校長名	教頭名	住 所 地	電 話	学級数	児童数	男 子	女 子	職員数
島原市立第一小学校	平田 賢	早稲田 植也	島原市城内一丁目1129番地	63-0041	20	497	250	247	33
島原市立第二小学校	長岡 亨輔	酒井 雄一	島原市萩が丘二丁目5688番地	63-0325	14	264	132	132	28
島原市立第三小学校	古瀬 唯二	新田 晃弘	島原市広馬場町7758番地	63-0026	14	248	127	121	24
島原市立第四小学校	大槻 浩二	園田 栄作	島原市宇土町乙670番地1	62-2410	11	201	98	103	19
島原市立第五小学校	野中 邦明	横田 秀富	島原市大下町丙1049番地	62-7253	14	342	171	171	24
島原市立三会小学校	松崎 和之	村田 善信	島原市中原町乙1462番地	62-3604	10	229	115	114	18
島原市立三会小学校長貫分校	〃	〃	島原市長貫町丙1902番地	62-3991	2	15	9	6	3
島原市立大東三東小学校	村田 茂則	野口 智宏	島原市有明町大三東丙582番地1	68-0030	12	233	119	114	20
島原市立高野小学校	松田 訓和	山本 孝二	島原市有明町大三東丁2133番地1	68-0034	7	65	31	34	14
島原市立湯江小学校	柳堂 圭章	岸川 和生	島原市有明町湯江西839番地	68-0504	11	218	114	104	19
合 計					115	2,312	1,166	1,146	202

○中学校（5）	校長名	教頭名	住 所 地	電 話	学級数	生徒数	男 子	女 子	職員数
島原市立第一中学校	渡邊 吉高	中村 健太郎	島原市城内一丁目1222番地	63-0376	13	388	213	175	25
島原市立第二中学校	矢島 和幸	林田 一也	島原市新山三丁目8916番地	63-0812	8	184	103	81	19
島原市立第三中学校	中村 球平	松尾 博愛	島原市梅園町丁2898番地	62-4813	9	166	77	89	19
島原市立三会中学校	本田 恭子	中野 元	島原市下宮町甲2511番地2	62-3709	7	129	70	59	16
島原市立有明中学校	本田 昌孝	小鉢 泰史	島原市有明町大三東戊1535番地2	68-2115	11	260	135	125	23
合 計					48	1,127	598	529	102

（参考）市内の高等学校、専修学校、幼稚園等

○高等学校（6）

学 校 名	校長名	教頭名	住 所 地	電 話	学級数	生徒数	男 子	女 子	職員数
長崎県立島原高等学校	岩橋 順弘	川口 由美子 田中 真実	島原市城内二丁目1130番地	62-4155	18	561	294	267	54
長崎県立島原高等学校定時制	岩橋 順弘	矢嶋 真行	島原市城内二丁目1130番地	62-4155	4	13	8	5	11
長崎県立島原農業高等学校	前田 達彦	山口 英明	島原市下折橋町4520番地	62-5125	9	255	120	135	50
長崎県立島原工業高等学校	山口 勇	船越 英規	島原市本光寺町4353番地	62-2768	9	307	285	22	46
長崎県立島原商業高等学校	前田 由美子	岩橋 宗弘	島原市城内一丁目1213番地	62-4059	9	286	64	222	35
島原中央高等学校	森崎 和樹	竹村 伸二	島原市船泊町丁3415番地	62-2435	9	166	110	56	22
合 計					58	1,588	881	707	218

○各種学校・専修学校(2)

学校名	校長名	住 所 地	電 話	昼 夜 別	生徒数	男 子	女 子	職 員 数
島原市医師会看護学校	稲田 義久	島原市萩原一丁目1230番地	65-0730	昼	139	34	105	83
Kokoro College Japan	板木 清	島原市秩父が浦町丁2669番地22	65-5561	昼	0	0	0	1
合 計					139	34	105	84

○特別支援学校(1)

学 校 名	校長名	教 頭 名	住 所 地	学 科 別 課 程 別	電 話	学 級 数	児 童 ・ 生 徒 数	男 子	女 子	職 員 数
長崎県立島原特別支援学校	近藤 亮二	岡田 健治 長下 芳寿	島原市新田町562番地	小学部 中学部 高等部	64-4463	13 6 9	46 22 51	32 15 27	14 7 24	76
合 計						28	119	74	45	76

※南串山分教室を含む

○幼稚園(2)

幼 稚 園 名	園長名	住 所 地	電 話	定 員	学 級 数	幼 児 数	男 子	女 子	職 員 数
島原活水幼稚園	芦田 雅理	島原市青葉町5436番地	63-2700	120	0	0	0	0	5
安中幼稚園	松井 勝俊	島原市大下町丙1159番地	62-3460	140	0	0	0	0	1
合 計				260	0	0	0	0	6

○認定こども園(5)

幼 稚 園 名	園長名	住 所 地	電 話	定 員	学 級 数	幼 児 数	男 子	女 子	職 員 数
島原幼稚園	野村千恵子	島原市弁天町一丁目107番地	62-2955	150	6	92	56	36	27
ありあり幼稚園	小嶺 典子	島原市坂上町7528番地	62-2584	95	3	64	37	27	16
ひかわ第一幼稚園	入江 靖宏	島原市上新丁二丁目2576番地	62-4420	145	7	99	62	37	18
清華こども園	蒲池 房子	島原市有明町大三東甲2150番地	68-1163	90	3	33	21	12	11
勝光幼稚園	菊池 敬	島原市有明町大三東戊1480番地1	68-0466	55	3	32	17	15	6
合 計				535	22	320	193	127	78



◎令和3年度高等学校進学状況（就職・進学者を含む）

令和4年3月 中学校卒業者	公立全日制				私立全日制				定時制・通信制・高専・特別支援						
	志願者数		進学者数		志願者数		進学者数		志願者数		進学者数		志願者数		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
県内	121	128	249	121	128	249	33	43	76	33	43	76	3	5	8
県外		1	1		1	1	7	7	14	7	7	14		2	2
合計	121	129	250	121	129	250	40	50	90	40	50	90	3	7	10

◎令和3年度就職先の状況（就職・進学者を含む）

男女別	第一次産業		第二次産業		第三次産業		左記以外		計	
	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外
男										
女										
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

◎ 各年度別中学校卒業生・進学者・進学者・進学者一覧表（5月1日現在）

年度	卒業生		進学者 (A)		進学者 (B)		志願者に 対する合格率	島原市の 進学者 B / A
	男子	女子	合計	男子	女子	合計		
平成12年度	237	240	477	230	236	466	98.3%	97.7%
平成13年度	252	248	500	243	245	488	100.0%	97.6%
平成14年度	232	235	467	221	228	449	99.6%	96.1%
平成15年度	239	212	451	238	212	450	100.0%	99.8%
平成16年度	238	208	446	235	208	443	100.0%	99.3%
平成17年度	312	281	593	306	280	586	100.0%	98.8%
平成18年度	310	256	566	306	256	562	100.0%	99.3%
平成19年度	262	274	536	260	272	532	100.0%	99.3%
平成20年度	280	261	541	278	260	538	99.8%	99.4%
平成21年度	275	320	595	271	320	591	99.8%	99.3%
平成22年度	244	250	494	244	250	494	100.0%	100.0%
平成23年度	275	230	505	268	230	498	99.6%	98.6%
平成24年度	236	227	463	232	225	457	100.0%	98.7%
平成25年度	227	229	456	227	227	454	100.0%	99.6%
平成26年度	250	252	502	242	249	491	99.0%	97.8%
平成27年度	213	227	440	208	226	434	100.0%	98.6%
平成28年度	254	222	476	251	221	472	100.0%	99.2%
平成29年度	208	170	378	205	170	375	100.0%	99.2%
平成30年度	223	207	430	220	203	423	100.0%	98.4%
令和元年度	168	159	327	167	159	326	99.7%	99.7%
令和2年度	197	178	375	194	177	371	100.0%	98.9%
令和3年度	165	186	351	164	184	348	100.0%	99.1%

◎各年度別中学校卒業者の進路状況（5月1日現在）

区分 年度	性別	卒業者計	進学者総計 ①+②+③	高等学校 入学者①	高等専門学校 入学者②	専修・専門学校、 公共職訓入学者③	就職者	就職・進学者 (再掲)	無業者	死亡不詳
平成24年度	男子	235	232	232	0	0	3	0	0	0
	女子	228	225	225	0	0	0	0	3	0
	合計	463	457	457	0	0	3	0	3	0
平成25年度	男子	227	227	225	2	0	0	0	0	0
	女子	229	227	226	0	1	1	0	1	0
	合計	456	454	451	2	1	1	0	1	0
平成26年度	男子	248	242	239	3	0	3	0	3	0
	女子	254	249	248	1	0	2	0	3	0
	合計	502	491	487	4	0	5	0	6	0
平成27年度	男子	213	210	209	0	1	3	1	0	0
	女子	227	227	225	1	1	0	0	0	0
	合計	440	437	434	1	2	3	1	0	0
平成28年度	男子	255	252	250	1	1	1	0	1	1
	女子	221	220	218	2	0	0	0	1	0
	合計	476	472	468	3	1	1	0	2	1
平成29年度	男子	208	206	205	0	1	1	0	1	0
	女子	170	170	170	0	0	0	0	0	0
	合計	378	376	375	0	1	1	0	1	0
平成30年度	男子	223	221	220	0	1	1	0	1	0
	女子	207	205	205	0	0	2	0	0	0
	合計	430	426	425	0	1	3	0	1	0
令和元年度	男子	168	167	166	0	1	0	0	1	0
	女子	159	159	159	0	0	0	0	0	0
	合計	327	326	325	0	1	0	0	1	0
令和2年度	男子	197	195	193	1	1	1	0	1	0
	女子	178	178	178	0	0	0	0	0	0
	合計	375	373	371	1	1	1	0	1	0
令和3年度	男子	168	167	166	1	0	0	0	1	0
	女子	183	183	183	0	0	0	0	0	0
	合計	351	350	349	1	0	0	0	1	0

### 3 学校施設

◎各小・中学校の建物及び校地の保有面積(5月1日現在)

面積等 学校別	児童 生徒数 計	学級数 計	校舎面積 計(㎡) ①+②+③	構造別面積			屋内 運動場 (㎡)	校地面積 計(㎡) ④+⑤+⑥	保有			プール施設
				R (鉄筋コン クリート) ①	S (鉄骨) ②	W (木造) ③			建物敷地 ④	運動場 ⑤	その他 ⑥	
第一小学校	497	20	6,599	6,403		196	860	19,064	8,899	8,975	1,190	25m6コース
第二小学校	264	14	5,675	5,543	79	53	860	24,651	14,495	10,156		25m6コース
第三小学校	248	14	5,961	5,442	461	58	956	18,258	9,912	8,163	183	25m7コース
第四小学校	201	11	4,639	4,639			973	17,193	9,772	7,421		25m6コース
第五小学校	342	14	4,583	4,140	418	25	805	16,174	8,783	7,391		25m6コース
三会小学校	229	10	3,871	3,690	150	31	700	15,038	4,972	10,021	45	25m6コース
長貫分校	15	2	416		296	120		3,299	1,462	1,347	490	
大三東小学校	233	12	3,664	3,602		62	660	16,354	6,707	7,659	1,988	25m6コース
高野小学校	65	7	1,934	1,742	170	22	465	11,249	5,668	5,581		25m6コース
湯江小学校	218	11	3,625	3,545	80		694	15,363	8,125	7,238		25m6コース
合計(10校)	2,312	115	40,967	38,746	1,654	567	6,973	156,643	78,795	73,952	3,896	
第一中学校	388	13	5,438	5,322	32	84	980	18,932	8,733	10,199		
第二中学校	184	8	6,183	6,151		32	1,200	47,511	21,039	24,408	2,064	
第三中学校	166	9	4,375	3,738	550	87	886	19,250	4,914	14,336		
三会中学校	129	7	3,469	3,157	206	106	860	20,499	8,995	11,504		
有明中学校	260	11	5,459	4,992	412	55	1,337	24,770	10,666	14,104		
合計(5校)	1,127	48	24,924	23,360	1,200	364	5,263	130,962	54,347	74,551	2,064	

## 4 奨 学 金

### 【貸与型奨学金】

- 目 的 経済的理由により修学が困難な者に奨学金を貸し付け、有為な人材の育成に資する。
- 資 格 本人又は扶養者が島原市に住所を有し、高校等に在学する者（専修学校等にあつては、修業年限が2年以上の課程に修業する者）
- 貸付額 高等学校 月額15,000円（専修学校の高等課程及びこれに準ずる課程を含む）  
高等学校以外（大学等）月額25,000円
- 償 還 高校等を卒業した月の翌月から起算して半年を経過した後、貸付けを受けた期間の2倍に相当する期間内に月賦又は半年賦の方法で全額を償還する。

※令和3年度 学校別貸付状況

学 校 別	貸付人員	新規貸付者 人	継続貸付者 人	合 計 人
高 等 学 校		4	0	4
専 修 学 校 等		0	1	1
大 学		3	6	9
合 計		7	7	14

### 【ふるさとにもどってこんね奨学金】

- 目 的 将来、故郷 島原市に帰郷し、就業する若者を応援するため、平成29年度から「ふるさとにもどってこんね奨学金」の貸付を行い、有為な人材の育成を図る。また、島原市内に帰郷し就業することで、奨学金の償還を免除することにより、修学を容易にし、島原市内への定住促進を目的とする。
- 資 格 次の各号のすべてに該当すること。
  - (1) 本人又は法定代理人が本市に住所を有し、市税の滞納がない者であること。
  - (2) 大学等に在学している者であること。（申請年度新入学した者に限る。）
  - (3) 経済的理由により修学が困難な者であること。
  - (4) 学業成績が優秀で、かつ品行方正な者であること。  
（高等学校の5段階評価の平均値が4.0以上であること。）
  - (5) 大学等を卒業後、市内に帰郷し就業する意思がある者であること。
- 貸付額 大学（大学院を除く）、短期大学、専修学校（専門課程） 月額50,000円
- 償還の猶予・免除
  - (1) ふるさとにもどってこんね奨学生であった者が、大学等（大学院を含む）を卒業後、本市に3年以内に住民票を有し、かつ実際に居住し、その後、継続して就業（アルバイト等の非正規雇用を除く）している者は、当該就業期間の償還を猶予する。
  - (2) 当該就業期間の猶予期間が5年を超える者については、債務償還額的全額を免除する。

- 償 還 上記猶予要件を満たさなかった場合は、大学等（大学院を含む）卒業の3年後から貸し付けを受けた期間の2倍の期間内に、月賦又は半年賦の方法で貸与を受けた奨学金の全額の償還義務が発生する。また、猶予期間の途中で免除要件を満たさなくなった場合は、猶予を取り消し、貸与を受けた奨学金の全額の償還義務が発生する。

※令和3年度 学校別貸付状況

学 校 別	貸付人員	新規貸付者 人	継続貸付者 人	合 計 人
専 修 学 校 等		0	0	0
大 学		3	4	7
合 計		3	4	7

【島原市奨学金の貸付額及び償還額累計】

年 度	区 分	貸付累計人員 人	貸付累計額 千円	償還累計額 千円
平成21年度		1,324	371,065	290,444
平成22年度		1,341	379,765	302,275
平成23年度		1,356	388,120	314,313
平成24年度		1,373	396,895	326,254
平成25年度		1,379	404,065	339,442
平成26年度		1,394	410,605	353,559
平成27年度		1,410	419,545	365,596
平成28年度		1,421	428,740	377,220
平成29年度		1,430	437,965	386,375
平成30年度		1,437	447,100	394,050
平成31年度		1,443	454,900	403,300
令和2年度		1,447	461,680	410,916
令和3年度		1,453	469,600	417,270

## 5 学校教育

### 【1】学校の教育目標及び研究主題

学校名	学校教育目標及び研究主題	教育目標…上段 研究主題…下段
第一小学校	自ら学び、自ら考え、主体的に行動できる人間性豊かなたくましい子どもの育成 ～やさしく かしこく たくましい子どもの育成～	
	◇ 学校像 ○ 楽しく活気のある学校 ○ 地域とともにある学校 ○ 美しい学校	◇ 子ども像 ○ 明るく、思いやりのある子ども ○ 進んで学び、よく考える子ども ○ 心身ともに健康で正しいことを貫く子ども
	◇ 教師像 ○ 組織力の高い教師 ○ 人間性豊かな教師 ○ 専門性を磨く教師	
	自分の考えを持ち、認め合い、高め合う子どもの育成 ～主体的・対話的で深い学びの実現を目指した算数科授業を通して～	
第二小学校	かしこく、やさしく、たくましい子の育成	
	◇ 学校像 ○ 美しい学校 ○ 節度のある学校 ○ 活気のある学校	◇ 子ども像 ○ かしこい子 ○ やさしい子 ○ たくましい子
	◇ 教師像 ○ 一人一人の子どもを大切に ○ 豊かな指導力をもち、授業に ○ 優しさと厳しさをもち、信頼される教師	
	「わかった」「できた」を感じ、主体的に学ぶ児童の育成 ～振り返りを重視した子ども主体の授業作りを通して～	
第三小学校	<よく学び よく遊び 心豊かでたくましく生きる子どもの育成> ～ かしこく やさしく たくましい 三小っ子の育成～	
	◇ 学校像 ○ 明るく楽しく活気あふれる学校 ○ 豊かな感性が育まれる学校 ○ 地域とともに歩み信頼される学校	◇ 子ども像 ○ かしこい子 ○ やさしい子 ○ たくましい子
	◇ 教師像 ○ 子ども一人一人のよさを伸ばし、子どもとともに成長する教師 ○ 研修に励み、指導力を高め、子どもとともに学ぶ教師 ○ 進んで協働し、子どもとともに汗を流す教師	
	児童が「分かる・できる」喜びを実感できる国語科の授業をめざして ～「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を通して～	
第四小学校	「やさしく 元気で 進んで学ぶ 杉谷っ子（タフな子）の育成」 （合い言葉） ～自分もSmile 友だちもSmile みんなSmile～	
	◇ 学校像 ○ 子どもにとって、安心安全で楽しく学ぶ学校 ○ 教職員にとって、やりがいのある学校 ○ 保護者にとって、通わせたい安心な学校 ○ 地域にとって、誇りに思える学校	◇ 子ども像 ○ 思いやりがあり、心やさしい子ども（やさしい子） ○ 心身ともに健康で、たくましい子ども（元気な子） ○ よく考え、進んで学ぶ子ども（進んで学ぶ子）
	◇ 教職員像 ○ 子どもと共に学び授業で育てる教職員 ○ 子どもと共に行動し寄り添う教職員 ○ 互いに学び高め合い、共働（協働）する教職員	
	自分の思いを生き生きと伝え合う主体的な児童の育成 ～楽しい外国語活動・外国語科を通して～	

第五小学校	<p>安中大好き！ 生命を大切にし、進んで学ぶ、素直でたくましい子どもの育成 ～すなおさいっぱい かしこさいっぱい たくましさいっぱい～</p>		
	◇ 学校像	◇ 児童像	◇ 教師像
	○ 子どもがいきいきと輝く学校	○ 生命を大切にし、素直な子	○ 明るく元気のある教師
	○ 教職員がやりがいをもって 仕事ができる学校	○ 進んで学ぶ子	○ 専門職としての力量を 磨き合う教師
	○ 保護者や地域から 信頼される学校	○ 心身ともにたくましい子	○ 人間愛に満ちた教師
	<p>進んで学ぶ楽しさを味わい、学んだことを活用しようとする子どもの育成 ～読解力を育成し、確かな学力を身に付ける授業をめざして～</p>		
三会小学校	<p>よく学び よく遊び 心豊かでたくましく生きる子どもの育成 ～かしこく やさしく たくましい 三会っ子の育成～ 《スローガン》 みんな えがお 三会小学校</p>		
	◇ 学校像	◇ 子ども像	◇ 教師像
	○ 学びがいのある学校 (児童)	○ かしこい子	○ 強い情熱をもつ教師
	○ 働きがいのある学校 (教職員)	○ やさしい子	○ 確かな力量をもつ教師
	○ 協力がいのある学校 (保護者や地域の方々)	○ たくましい子	○ 総合的な人間力を備えた 教師
	<p>今、児童に求められる資質・能力の向上を目指して ～ICTを活用した授業の実践を通して～</p>		
大三東小学校	<p>大三東に学び かしこく生きる たくましい子ども</p>		
	◇ 学校像	◇ 子ども像	◇ 教師像
	○ 楽しい学校	○ 思いやりがあり 助け合う子ども	○ 常に学び続ける教師
	○ 美しい学校	○ 進んで学び 高め合う子ども	○ 親身になって寄り添う教師
	○ 開かれた学校	○ 健康でたくましい子ども	○ 和を大切にする教師
	<p>自ら考え、主体的に学ぼうとする大三東っ子の育成 ～算数科における「数学的な見方・考え方」を働かせた授業改善を通して～</p>		
高野小学校	<p>かしこく やさしく たくましく</p>		
	◇ 学校像	◇ 子ども像	◇ 教師像
	○ 明るく元気で楽しい学校	○ 学び合う子ども	○ 使命感を持ち、真心で 向き合う教師
	○ 地域に愛される学校	○ 認め合う子ども	○ 子どもの可能性を信じる教師
	○ 安全で美しい学校	○ やりぬく子ども	○ 互いに認め合い、磨き合う 教師
	<p>思考力・判断力・表現力を身に付けた児童の育成</p>		



湯江小学校	清くやさしい子ども・強く正しい子ども・希望かがやく子どもの育成		
	◇ 学校像 ○ 学び合う学校 ○ 支え合う学校 ○ 高め合う学校	◇ 児童像 ○ 清くやさしい子ども ○ 強く正しい子ども ○ 希望かがやく子ども	◇ 教師像 ○ 信頼される教師 ○ 寄り添う教師 ○ 磨き合う教師
	自ら学び、生き生きと表現する子どもの育成 ～数学的な見方・考え方を働かせる学びのサイクルの確立をめざして～		
第一中学校	自ら学び、心豊かでたくましい生徒の育成		
	◇ 学校像 ○ 生命を尊重し、思いやりのある生徒が集う学校 ○ 家庭・地域との連携を図り、信頼される学校 ○ 教職員が働きやすい、働きがいのある学校 ○ 地域と教職員が「一枚岩」となり組織力が機能する学校	◇ 生徒像 ○ 自ら考え、創意工夫する生徒 ○ 思いやりのある、心豊かな生徒 ○ 心身共に健康で、たくましい生徒	◇ 教師像 ○ 研修に励み、資質・力量の向上に努める教職員 ○ 生徒理解に努め、使命感に燃える教職員 ○ 人間性豊かで、共に高め合う教職員
	学力向上のための指導方法の在り方 ～「主体的・対話的で深い学び」の指導の充実を目指して～		
第二中学校	志を立て 進んで学ぶ生徒の育成		
	◇ 学校像 ○ 「通いたい学校」 ○ 「通わせたい学校」 ○ 「働きがいのある学校」	◇ 生徒像 ○ 自他を敬愛し心豊かな生徒 ○ 深く考え学びとる生徒 ○ 健康で前向きに取り組む生徒	◇ 教師像 ○ 生徒と共に実践する教師 ○ 自ら研鑽に励み伸びる教師 ○ 心身ともに健康で、実践力のある教師
	基礎・基本を身につけ、学んだことを活用できる生徒の育成 ～読解力の視点を踏まえた授業改善を通して～		

第三中学校	自他共栄の精神で学び、持続可能な社会の創り手となる生徒の育成		
	◇ 学校像 ○ 落ち着いた中にも、活気のある学校 ○ 生命を尊重し、思いやりのある生徒が集う学校 ○ 家庭、地域との連携を図り、信頼される学校 ○ 教職員が働きやすい、働きがいのある学校	◇ 生徒像 ○ 自分を高めようと努力する生徒 ○ よく考え、創意工夫する生徒 ○ 思いやりのある、心豊かな生徒 ○ 心身共に健康で、たくましい生徒	◇ 教職員像 ○ 研修に励み、資質の向上に努める教職員 ○ 生徒理解に努め、使命感に燃える教職員 ○ 人間性豊かで、互いに高め合う教職員
	豊かな表現力を備えた生徒の育成		
三会中学校	自ら考え、判断し、行動する心豊かでたくましい生徒の育成		
	◇ 学校像 ○ 「生きる力」の基盤となる確かな学力を身に付けさせる学校 ○ 秩序と節度があり、互いに高め合う活気に満ちた学校 ○ 地域・家庭・関係機関と連携・協働し、生徒を育てる学校	◇ 生徒像 ○ 自ら考え、意欲的に学ぶ生徒 ○ 違いを認め、違いに学び、豊かな人間関係を築く生徒 ○ 心も体もたくましく、目標の実現に向け努力する生徒	◇ 教職員像 ○ 研鑽に励み、生徒の学びや成長に真摯に向き合う教職員 ○ 生徒理解に努め、人間性豊かで教育愛に富む教職員 ○ 同僚や家庭・地域と連携・協働し、ともに学校を創る教職員
	自己を見つめ、よりよく生きようとする心豊かな生徒の育成 ～授業改善と教育活動全体からのアプローチを通して～		
有明中学校	○ 自ら考え、自ら課題を見つけ学ぼうと努力する生徒を育てる ○ 礼儀正しく、思いやり・感謝・奉仕の気持ちを重んずる生徒を育てる ○ 心身ともに健康で、気力・体力が充実した、忍耐力のある生徒を育てる		
	◇ 学校像 ○ 子どもが、生きがいを感じて通える学校 ○ 保護者が、信頼して我が子を託せる学校 ○ 地域が、親しみをもち誇りにできる学校 ○ 教職員が、働きがいと誇りを感じる学校	◇ 生徒像 ○ 夢と希望を持ち、生き生きと前向きに取り組む生徒 ○ 表現力豊かで、思いやりと感謝の心を持った生徒 ○ 当たり前前のが、当たり前前のできる生徒	◇ 教師像 ○ 情熱と教育愛にあふれ、子どもとともに活動する教師 ○ 指導力の向上をめざし、絶えず研鑽に励む教師 ○ 自覚と協調性をもち、チーム力を高め合う教師 ○ 法律を遵守し、自己管理に努める教師
	一人一人が輝くために、主体的に考え学び行動できる生徒の育成 ～個別最適で協働的に行う、主体的・対話的な深い学びの実践を通して～		

## 【2】島原市適応指導教室

### (1) 島原市適応指導教室設置の目的及び設置

心理的又は情緒的理由により登校できない状態にある児童生徒（以下「対象児童生徒」という。）に対して、学校復帰を援助するため、島原市適応指導教室（以下「適応指導教室」という。）を設置する。

### (2) 対象児童生徒

適応指導教室に通級できる児童生徒は、次の各号に該当する児童生徒とする

- ① 島原市在住の児童生徒
- ② 島原市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が、適応指導教室における指導や援助が効果的と判断し、かつ、通級可能な児童生徒
- ③ 本人と保護者が、適応指導教室に通級することを希望する児童生徒
- ④ 在籍校長が、適応指導教室に通級することを認める児童生徒

### (3) 開設場所

島原市北門町 130 番地 (TEL 0957-64-7098)

### (4) 開設日及び開設時間

- ① 開設日は、毎週月曜日から金曜日までとする。
- ② 開設時間は、午前 9 時 30 分から午後 3 時 30 分までとする。

### (5) 指導者

教育委員会が、任命又は委嘱した相談員（会計年度任用職員）及び委員

（医療関係者、学校関係者、教育委員会職員、その他）

### (6) 指導方針

- ① 基本的生活習慣の改善を図り、精神的及び社会的な自立を促す。
- ② 体験学習・遊び等を通して、生活経験を広げるとともに、集団生活に参加する意欲を高める。
- ③ 児童生徒同士、児童生徒と指導者との人間的なふれあいを深めるとともに協調性や耐性を養う。
- ④ 児童生徒一人一人の学力に応じた個別指導を進めながら、学力の補充を行うことにより、学校復帰への抵抗を和らげる。
- ⑤ 教職員研修を充実する。
- ⑥ 不登校児童生徒の保護者会を定期的に開催し、情報交換をするとともに、相談員や専門相談員との懇談を実施し、保護者の悩み等を和らげる。
- ⑦ 訪問指導をし、通級できない児童生徒への相談・指導・援助を図る。
- ⑧ 教育委員会と学校・家庭・関係機関とが連携を図りながら、協力体制をより充実させることにより、児童生徒の学校への復帰を援助する。

### (7) 努力事項

- ① 児童生徒同士、児童生徒と指導者との人間的なふれあいを深め、児童生徒の心を開かせる。
- ② 学校・家庭・関係機関と連携を図るとともに、専門相談員の指導助言を受けながら児童生徒一人一人の実態に応じて、適切な相談・指導・援助を行う。

③教職員研修の充実を図るとともに、保護者へ適切な援助を行う。

## (8) 指導内容

### ①児童生徒に対する指導

#### ア集団生活への適応指導

様々な体験学習や遊び・各種行事への参加等を通じて、集団や小集団での相談指導・援助をし、集団生活への適応を図る。

#### イ生活指導

個別や小集団での相談・指導や対応をしていくなかで、基本的な生活習慣を身につけさせていく。

#### ウ教科指導

一人一人の学力に応じた個別指導を行う。

### ②保護者に対する相談・指導

ア個別相談を通して、児童生徒への対応のあり方を考えたり、児童生徒の実態に応じて、専門家や他の関係機関を紹介したりする。

イ保護者会を通して、保護者同士が子供への対応のあり方について学び合う。

### ③学校との連携

ア在籍校と連携を取りながら、児童生徒への指導のあり方を相談し合う。

イ通級状況を報告し、実態を知らせる。

ウ事例研修会や教育講演会を通して、児童生徒への対応のあり方について学び合う。

### ④関係機関との連携

必要に応じて関係機関（県教育センター、市少年センター、長崎こども・女性・障害者支援センター、福祉事務所等）と十分連携を取りながら指導にあたる。

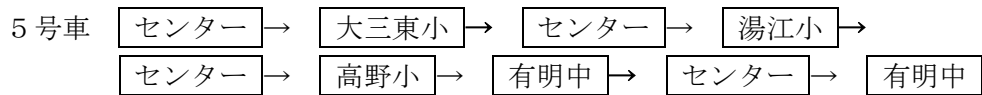
### ⑤専門家による指導

児童生徒一人一人の状態について、専門相談員の指導を受けながら、相談・指導・援助等を行う。

## (9) 島原市適応指導教室概要

・ 主管部局	島原市教育委員会	学校教育課
・ 設置	平成8年10月1日	
・ 平成8年度	毎週火曜日と金曜日の週2日	相談員2名 (週2日勤務)
・ 平成9年度	毎週火曜日から金曜日までの週4日	相談員2名 (週3日勤務)
・ 平成10年度 ～14年度	毎週月曜日から金曜日までの週5日	相談員2名 (週4日勤務)
・ 平成15年度～	毎週月曜日から金曜日までの週5日	相談員2名 (週5日勤務)





## 2 安全衛生管理の徹底

「学校給食衛生管理基準」に基づき施設・設備の整備を図るとともに関係職員の資質の向上に努める。

- (1) 学校給食施設設備の点検（年3回、各学期毎に実施）  
薬剤師と連携し、給食施設の点検、食器の残渣テスト等を行う。
- (2) 専門業者によるネズミ及び衛生害虫防除（年3回、夏・春・冬実施）
- (3) 保健所係員による立入り検査（年1回）

## 3 地域社会・家庭との連携

学校給食をとおして、地域社会及び家庭の食生活改善に資するとともに、児童・生徒の健康保持増進に努める。

- (1) 毎月の献立を内容とした広報紙を各家庭に配布する。
- (2) 地域団体との交流会時に給食試食会を行う。

## 4 学校給食検討委員会

学校給食の充実について、広く意見を聴取するために設置する。

定数は27名以内とし、校長代表、学校給食調理場長、育友会・地域代表等を構成員とする。



【共同調理場】



【有明学校給食センター】

## 6 学校体育

### 【1】目標

学校における体育・健康に関する指導は、児童生徒の発達の段階を考慮して、学校の教育活動全体を通じて適切に行うことにより、健康で安全な生活と豊かなスポーツライフの実現を目指した教育の実現に努めること。特に、学校における食育の推進及び体力の向上に関する指導、並びに安全に関する指導、心身の健康の保持増進に関する指導については、保健体育科、技術・家庭科及び特別活動の時間はもとより、各教科、道徳科及び総合的な学習の時間などにおいてもそれぞれの特質に応じて適切に行うよう努めること。また、それらの指導を通して、家庭や地域社会との連携を図りながら、日常生活における適切な体育・健康に関する活動の実践を促し、生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送るための基礎を培う。

#### (1) 小学校

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを目指す。

#### (2) 中学校

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを目指す。

##### ①体育科授業の充実

- ア 指導方法の工夫改善に努め、基礎・基本の定着と効果的な学習の展開・実践に努める。
- イ 教師の技能の向上と豊かな指導力と旺盛な意欲を養うための研修会、講習会への積極的参加に努める。
- ウ 体力テストの実施

(全学年の児童生徒に実施することによって、体力向上のための基礎資料を得る。)

##### ②中学校部活動の指導と管理

学校教育活動の一環として、学校管理下で運営を実施し、部活動外部指導者を含めた指導体制の確立と部活動の指導、管理に努める。

##### ③中学校体育大会（中学校体育連盟）

市中学校体育連盟、市教育委員会共催により、各種競技大会（球技・武道・水泳・陸上・駅伝）を実施し、競技力及び体力の向上を図る。

【2】令和4年度中学校部活動実施状況

	部活動名	第一中学校			第二中学校			第三中学校			三会中学校			有明中学校			合計		
		男子	女子	小計	男子	女子	小計	男子	女子	小計	男子	女子	小計	男子	女子	小計	男子	女子	小計
1	陸上競技	14	9	23				6	7	13				10	7	17	30	23	53
2	水泳				1		1	2	1	3				4	3	7	7	4	11
3	バスケットボール	16	18	34	18	15	33							14	13	27	48	46	94
4	バレーボール	21	9	30		15	15	12	13	25		11	11	14	22	36	47	70	117
5	卓球	36	21	57	10	4	14		14	14		12	12	10	7	17	56	58	114
6	サッカー	23	5	28	28	1	29	14	3	17	13	4	17	14	4	18	92	17	109
7	軟式野球	11		11				8		8	16	2	18	9	1	10	44	3	47
8	柔道																		
9	剣道		2	2	4	3	7							7	5	12	11	10	21
10	ソフトテニス	36	19	55	8	11	19	13	18	31	24	15	39	20	13	33	101	76	177
11	ソフトボール																		
12	吹奏楽	4	37	41		11	11				2	7	9	6	15	21	12	70	82
13	美術	1	28	29	4	10	14		10	10				6	21	27	11	69	80
14	パソコン	24	15	39													24	15	39
15	音楽								6	6								6	6
16																			
部活動員合計		186	163	349	73	70	143	55	72	127	55	51	106	114	111	225	483	467	950
生徒総数		213	175	388	103	81	184	77	89	166	70	59	129	135	125	260	598	529	1,127
部活動加入率		87.3%	93.1%	89.9%	70.9%	86.4%	77.7%	71.4%	80.9%	76.5%	78.6%	86.4%	82.2%	84.4%	88.8%	86.5%	80.8%	88.3%	84.3%



## 7 学校保健

### 【1】目標

学校における保健管理及び安全管理に関し必要な事項を法に基づき実施し、児童・生徒及び職員の健康の維持増進を図る。

(1) 小・中学校児童生徒の体位状況(市・県・全国比較表)

	身長(cm)		体重(kg)		
	男	女	男	女	
6 歳	市	116.7	115.7	22.2	21.5
	県	116.3	115.5	21.6	21.1
	国	117.5	116.7	22.0	21.5
7 歳	市	122.3	122.0	24.3	24.3
	県	122.2	121.4	24.2	23.9
	国	123.5	122.6	24.9	24.3
8 歳	市	129.1	128.9	28.5	27.9
	県	127.8	127.4	27.4	27.0
	国	129.1	128.5	28.4	27.4
9 歳	市	133.9	135.4	32.1	31.8
	県	133.1	133.7	30.8	30.6
	国	134.5	134.8	32.0	31.1
10 歳	市	139.3	141.3	35.4	35.2
	県	138.8	140.5	34.4	34.8
	国	140.1	141.5	36.8	35.4
11 歳	市	146.2	147.3	39.8	40.5
	県	145.2	146.9	38.9	40.0
	国	146.6	148.0	40.4	40.3

	身長(cm)		体重(kg)		
	男	女	男	女	
12 歳	市	153.2	151.7	45.1	45.4
	県	152.7	151.6	44.4	44.6
	国	154.3	152.6	45.8	44.5
13 歳	市	159.9	155.0	49.3	48.2
	県	159.7	154.5	49.2	47.8
	国	161.4	155.2	50.9	47.9
14 歳	市	165.3	156.4	55.7	51.3
	県	165.2	156.2	54.3	50.5
	国	166.1	156.7	55.2	50.2

(国・県・市とも令和3年度)

## 8 社会教育

### 【1】社会教育関係団体

#### (1) 女性会

市内3地区には、地区女性会があり、独自の活動目標を掲げ、女性学級等の研修活動や環境美化等の奉仕活動に取り組むとともに、地域行事に積極的に参画し、青少年の健全育成活動にも熱心に取り組んでいる。また、地区女性団体等の交流を深めるため「しまばら女性ネットワーク」を組織し、島原市の発展に貢献しており、市をはじめ地域の諸行事や青少年の健全育成の推進において欠くことのできない団体である。会の運営については、自主運営の方針を尊重しながら女性会活動の活性化について、適切な助言を行う。

#### (2) 青年団

島原市の青年団活動は、地区青年団として白山青年団が活動を行っている。

団員は少ないが、青少年健全育成活動にも力を入れており、地区の通学合宿や精霊流し等での活動は、市民に高い評価を得ている。

今後も、新規団員の獲得やリーダー育成などの支援に努めていきたい。

#### (3) 青少年健全育成協議会

市内7地区で組織されている青少年健全育成協議会は、地域全体で子どもたちを育成する中心母体として、地区ごとの特色を生かし、体育・レクリエーション行事、伝承・伝統行事、週末の余暇活動等を実施している。これらの活動を通して、親子や三世代のふれあいの機会を設け、地域の連帯意識の高揚に努めている。7地区の健全育成会の連合組織である市青少年健全育成連絡協議会では、各地区の活動状況等の報告会を定期的を開催し、意見交換を行うなど、他地区の成果を共有し、各地区の活動に生かしている。

#### (4) P T A

P T A連合会は、小中学校14校の育友会又はP T Aで結成されている。県P T A連合会の「自らの人間力を高め、教育力の向上を目指すP T A活動を推進しよう」というスローガンのもと、「児童生徒の福祉を増進するために、相互に連絡し協力し、責任を分け合い、教育の進展に努力すること」を目的としている。市P T A連合会研修会の充実に向けた連携強化を図るとともに、家庭教育学級や各種の行事を通して、各会員の資質の向上に努めている。また、令和3年度から、各校の会長を対象に、単P活動の活性化を目的とした「会長研修会」を開催している。

各単位組織の会員に対しては、各種研修会の充実とともに、今日の社会情勢や子どもの現状を考え、自分の子育てを見直し、積極的な子育てができるように努め、「しまばら家庭教育三

三七拍子」などを活用しての「基本的な生活習慣の定着」「メディアの正しい使用法の定着」「たくましい子どもの育成」など、家庭教育力の向上を図る。

地域ぐるみの子育てを目指した「島原市ココロねっこ運動」の推進に向けては、異学年による通学合宿の実施、子育て支援団体との連携、地域学校協働活動の推進を図っていく。その中で、子育てにおける家庭の役割、学校の役割、地域や行政の支援のあり方等を明らかにし、今後の子育て環境の向上につなげ、子どもが健やかに育つ地域づくりを目指す。

## (5) 子ども会

長崎県子ども会育成連合会(県子連)に加入している会員数は、少子化の影響を受け年々減少してきている。このため、単位子ども会としての活動が困難になったり、役員の選出が困難になったりするなどの問題が生じている子ども会もあり、これらの問題解消のため、子ども会の合併を検討、実施しているところも出てきている。子ども自身による企画・運営の場や自然や地域の中での体験活動の減少も見られ、子どもたちにとって一番身近な地域活動の場が弱体化していることが危惧される。今後、PTA等との連携を図りながら、強固な組織づくりを踏まえた支援を行う必要がある。

単位子ども会の連合組織である「島原市子ども会育成連絡協議会」(市子連)が単位子ども会の活性化に向けて、様々な取組を行っており、自主的な運営ができるよう助言等を行っていく。

## (6) 高齢者団体

市老人クラブ連合会(市老連)は、7地区の各老人クラブから構成されている。福祉行政とも連携し、健康で豊かな老後を過ごせるよう、各種行事等へ積極的に参加するよう促すとともに、地域の子どもたちとの交流、高齢者学級の運営等に自ら進んで参加できるような工夫・配慮を行う。

## 【2】公民館活動

### (1) 各地区公民館の概況

(令和4年4月1日現在)

地区名	有明	三会	杉谷	森岳	霊丘	白山	安中	合計
公民館名称	有明公民館	三会公民館	杉谷公民館	森岳公民館	霊丘公民館	白山公民館	安中公民館	
対象区域(k㎡)	23.49	9.28	9.88	2.80	2.20	2.69	8.48	58.82
世帯数	3,881	1,690	1,550	3,973	2,731	3,135	2,795	19,755
人口	9,880	4,237	3,535	8,163	5,343	5,979	6,194	43,331
館長	社会教育課長が兼任							1
職員数	1	1	1	1	1	1	1	7
事務員	1	1	1	1	1	1	1	7
敷地面積(㎡)	5,658	1,961	3,896	1,443	1,636	1,238	1,928	17,760
施設面積(㎡)	1,779	964	1,118	1,353	1,016	971	785	7,986
施設構造	鉄筋2階	鉄筋2階	鉄筋2階	鉄筋2階	鉄筋3階	鉄筋2階	鉄筋2階	-
竣工年	S47.4	H1.7	H10.12	S45.3	S50.11	S59.3	S53.11	-
駐車場(台)	181	50	66	8	48	29	23	405
図書室蔵書数	-	2,405	3,015	-	3,339	2,923	2,335	14,017
サークル数	30	14	22	47	34	30	15	192

※対象区域面積には国有林を含まない。

### (2) 公民館活動の目標

- ★健やかな子どもたちの成長を願い、PTAや地域の子ども会・青少年健全育成協議会と連携し、公民館を拠点とした青少年健全育成活動を行う。
- ★家庭教育学級・女性学級・高齢者学級・青年教室などの学級や講座を開催し、地域住民の学習意欲を高める。
- ★趣味・サークルなどのグループ活動を促進し、生きがいを求める諸活動を推進する。
- ★青年団・女性会・老人クラブなどを中心として、地域住民のふれあい活動を進める。

### (3) 公民館運営計画

#### ① 公民館を拠点とした青少年の学校外活動の充実

近年、少子化や核家族化が進み、地域ぐるみで子どもを育てていくことの重要性が高まっている。公民館においても、子ども向けの事業の企画や、学校や地域と連携した各種事業の実施を通じて公民館が子どもたちの活動の場やいこいの場となるよう努めたい。

#### ② 学級・講座の充実

生涯における各時期（乳幼児、学童、青年、成人、高齢期）の諸課題をふまえた生涯学習を展

開し、それぞれに合わせた各種学級講座を開設するとともに、生きがいを求めるための仲間づくり、趣味のサークル・グループ活動の奨励と拡充を図る。特に家庭教育学級については、青少年の実態から家庭教育の重要性が指摘される状況下、学校・PTA・地区青少年健全育成協議会及び公民館の4者の協働により、健康教育講座や社会教育課による出前講座等を取り入れつつ、新たな課題への対応等にも配慮し、それぞれの特色を生かした総合的な講座となるよう努めたい。

また、その集大成として、各公民館における生涯学習の発表と地域住民の交流の場として「公民館まつり」の充実を図りたい。

### ③ 図書活動

公民館を利用する地域住民からの図書室環境整備や蔵書充実等の要望を受け、その意向にそった図書室の整備・活用及び図書購入を行う。購入した新刊図書などについては、随時、広報活動を通じて啓発を行う。図書の配置場所や明るい図書室の雰囲気づくりなど親しみやすい環境づくりにも配慮し、子ども向け図書の充実やおはなし会等を通じて、子どもの姿の見える図書室・公民館づくりに努めたい。

### ④ 視聴覚教育活動

各種学級（教室）講座などに、随時、ビデオ、プロジェクター等の視聴覚機材を利用した学習の充実を図っていくと同時に、視聴覚ライブラリー教材ビデオ等ソフトの利用促進を図る。

また、情報化社会の進展に伴い、コンピュータが家庭に普及し、インターネット等に対する市民の関心が高いことから、「IT講習会」用として各公民館に導入したパソコンを活用して、多くの方が利用できるようパソコン入門講座等を開催していきたい。

### ⑤ 地域連帯感を高める活動

うるおいと活力に満ちた郷土づくりに寄与するため、共に助け合い、高め合う地域の連帯感づくりに、地域の特性を生かした三世代ふれあい活動などを行う。

### ⑥ 社会教育関係団体育成計画

#### ア 青年団

現状では、青年団活動が行われているのは1地区のみであるが、各地区においても、青年層が公民館を利用する活動等を支援するため、青年が参加できる講座や行事を工夫し、地域に密着した青年活動の再生と活発化を図りたい。

また、地域における子どもたちの体験活動の不足が指摘されており、青年層の指導的な立場での参画を促すと共に、自主的な学習、行事への積極的な参加意欲を高め、地域との連帯を深めるよう努めていきたい。

#### イ 女性会

減少傾向にある女性会組織の維持・強化を図るため、「無理をせず、お互いに支えあい、

和気あいあいと、できる人ができる時に、できることを」をモットーに「女性会に入ってよかった」と思われるやりがいのある、魅力ある女性会づくりを促していく。会員自身の学習・研鑽に努め、子どもの健全育成と地域婦人としての教養の向上を図る。

また、女性会が存在しない市内4地区においては、女性の会等が結成され、地域の活性化のために取り組んでいる。女性会、女性の会それぞれの自主性を尊重しながら、活性化のための育成を図る。

#### ウ 高齢者団体

健康保持と豊かな老後を過ごせるよう、高齢者学級、グラウンドゴルフやボッチャなどの軽スポーツ、研修視察等を通して会員相互の親睦・融和を図るとともに、社会奉仕活動等を取り入れた地域活動を通して、生きがいを求め、頼れる人としての意識の高揚に努める。また、地域の小中学生との交流も積極的に行う。

#### エ P T A

明るく素直で健康的な子どもを育てるために、家庭教育学級、各種行事等を通して常に連携をとりながら、子育ての推進・強化を促す。

そのため、市P T A連合会や各学校の単位組織との連携を深めながら、役員や会員研修の充実を図る。

#### ⑦ 青少年健全育成活動

多様化した社会環境の中で青少年の非行は大きな社会問題である。各種団体と連携を密にし、地区青少年健全育成協議会を中心として、子どもたちの心豊かで健やかな成長を願い、地域の特性を生かした行事や環境整備に努める。

#### ⑧ 広報活動

- ・各種行事啓発のため「公民館だより」を発行し、内容の充実を図る。
- ・各種関係団体との連携をとり、団体の広報活動の促進を図る。
- ・公民館関係行事等を報道機関へ連絡し、広く周知を図る。
- ・島原市ホームページや市広報紙を活用し、積極的な情報発信を行う。

### 【3】公民館利用状況（令和3年度）

	公民館事業		各種団体		趣味・サークル		官公署その他		回数 合計	人数 合計
	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員		
有明	28	430	139	1,888	943	4,597	279	5,868	1,389	12,783
三会	30	360	106	1,802	311	2,030	206	5,632	653	9,824
杉谷	26	468	108	2,069	604	5,819	187	5,361	925	13,717
森岳	63	1,094	474	5,686	822	6,975	327	6,087	1,686	19,842
霊丘	27	599	300	4,021	459	4,501	139	3,336	925	12,457
白山	16	342	91	1,625	656	7,338	172	7,078	935	16,383
安中	19	245	137	2,343	239	2,070	121	5,182	516	9,840
計	209	3,538	1,355	19,434	4,034	33,330	1,431	38,544	7,029	94,846

### 【4】生涯学習推進

#### （1）各公民館が開設する各種学級・講座

##### ・学級の概況

本市は、市内7地区に1館ずつ公立の公民館を設置している。

各地区の公民館は、それぞれ独立し、公民館を主会場として公費の各種学級・講座を開設している。

##### □開設状況（令和3年度）

公民館 学級名	公民館								合計
	有明	三会	杉谷	森岳	霊丘	白山	安中		
高齢者学級	1	1	1	1	1	1	1	1	7
女性学級	1	1	1	2	2	1	1	1	9
青年教室						1			1
家庭教育学級	2	1	1	1	1	1	1	1	8
合計	4	3	3	4	4	4	4	3	25

公民館自主講座	1	4	2	2	0	3	2		14
---------	---	---	---	---	---	---	---	--	----

## (2) 社会教育課が主催、共催する各種講座

### ① 市民文化講座

文化に対する教養の向上、興味関心を高めるために、島原文化連盟との共催により市民文化講座を開催している。市内外の著名な講師による講座で、年に数回実施している。

### ② 健康教育講座

昭和51年度から始めた健康教育講座も女性学級や高齢者学級の中の重要な講座として定着しており、そのテーマなど学級生の関心も高く、毎回、多くの参加者がある。また、子育て中のお父さん、お母さんを対象とした家庭教育学級においても実施し、家庭での健康づくりに活かされている。

講師は、主に医師会の医師が当たり、そのほかに歯科医師会、栄養士会、島原市地域包括支援センター等が担当し、「私の健康、家族の健康」というスローガンのもとに、これからの健康づくりを目標とした県下でも特色ある講座となっている。

### ③ 「IT講習会」

各地区公民館に配置したパソコンを利用して、初級、中級者を対象とした、ワード、エクセル、タブレット講座などを開催しており、受講希望の多い講座となっている。

## (3) 青少年教育

### ① 各公民館が主催する講座・行事

- ア 子ども向けおはなし会
- イ 各種子ども体験活動

### ② 社会教育課が主催する講座・行事

#### ア 放課後子ども学習室

基礎学力の向上と学習習慣の定着化を目的に、市内全小・中学校で実施している。放課後の時間帯に希望する児童が学校内の余裕教室などに集まり、宿題や予習・復習に取り組んでいる。令和3年度は延べ1,568回実施され、延べ32,318名（1回平均20.6名）の参加があった。

#### イ スクールキッズ

小学生を対象に、夏休みにおける自学習習慣の定着を目的として実施している。希望する児童が4日間各公民館に行き、夏休みの課題に取り組む。退職校長会に教育活動支援員として協力をいただいている。令和3年度は参加申込者数122名、延べ参加児童は464名であった。

#### ウ 通学合宿

各地区健全育成団体やPTAなどの協力のもとに市内7地区で実施している。2泊3日または3泊4日の日程で公民館において、炊事などの身の回りのことを自分達で行う集団



生活を送りながら学校へ通い、子どもたちの“生きぬく力”を育む。令和3年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により中止した。

#### エ 週末余暇活動

子どもたちの週末の居場所づくりとして、健全育成会やPTA、女性会や老人クラブ等の協力を得て、各地区の公民館や学校を舞台に様々な遊びや体験活動を実施している。

### (4) 子育て支援

#### ① 子育て講座

よりよい家庭教育のあり方や前向きに子育てに取り組む方法などを学ぶ機会とするため、小・中学校及び産婦人科医院等の協力を得て、発達段階（思春期）に応じた子育て講座を年5回開催する。なお、福祉保健部こども課においては、乳幼児期の子どもをもつ親等を対象にした子育て講座を実施し、子育ての仲間づくりの支援を行っている。



市民文化講座

放課後子ども学習室



## 【資料】

### 社会教育委員名簿

(令和3年4月1日から令和5年3月31日まで任期2年)

氏名	備考
◎ 金子統太郎	学識経験
北浦 誠治	家庭教育
永石 一成	学識経験
佐藤美由紀	家庭教育
村本 雅一	社会教育
喜多 彰	学識経験
川本まなみ	社会教育
豊田 芳明	社会教育
古瀬 彬	社会教育
松崎 和之	学校教育
本多 純子	家庭教育

### 各種学級・教室学習計画

#### ① 令和4年度青年教室実施計画

回	中央青年教室 白山地区青年団	(20名)
1	高齢者との交流「敬老祝賀会」	9月
2	地域交流「白山公民館まつり」	11月
3	地域交流「オリエンテーリング大会」	2月

令和4年度 各地区女性学級実施計画（10学級）

回	三会公民館	杉谷公民館	森岳公民館	
	ふたば女性学級 三会地区在住女性 (25名)	ほたる女性学級 市内在住の女性 (15名)	さくら女性学級 森岳婦人会会員 (49名)	ゆうすい女性学級 市内在住の女性 (20名)
1	5月 開講式 松平家の女たち	6月 開講式 鎌倉殿の13人	5月 開講式 腰痛について	4月 開講式 南島原の歴史
2	6月 救急法を学ぼう	7月 ピラティスで美しく	6月 童謡と昔話	5月 島原城再発見
3	7月 ミニドローン飛ばしてみよう	9月 エコクラフト	7月 香と認知症予防 ポプリづくり	6月 落語を楽しむ
4	8月 パーソナルカラー講座	10月 タブレットに触れてみよう	9月 私の家族と相続Ⅰ	7月 ボッチャ
5	9月 己書に挑戦	11月 本光寺見学	10月 私の家族と相続Ⅱ	9月 楽しく歌おう！
6	10月 三会めぐり	12月 閉講式 日米親善人形の話	11月 検討中	10月 薬草園とアサギマダラ
7	11月 ノルディックポールウォーキング		12月 コグニサイズ	11月 検討中
8	12月 お正月飾り		1月 Zoomに挑戦	12月 お正月花
9	1月 プログラミング講座		2月 閉講式 人権学習	1月 フレイル予防
10	2月 閉講式 日米交流人形の話			2月 遺言について
11				3月 閉講式 年間反省・次年計画

回	霊丘公民館		白山公民館	安中公民館	有明公民館
	中央女性学級 霊丘女性会会員 (35名)	コスモス女性学級 市内在住の女性 (29名)	白山女性学級 白山女性会会員 (62名)	安中女性学級 安中地区在住女性 (18名)	有明女子会キララ 有明地区在住の女性 公民館利用者(14名)
1	5月 開講式 グラウンドゴルフ	6月 開講式 島原城を知ろう！	5月 開講式 止められる老化のポイント	5月 開講式 楽しい古典講座	6月 開講式 描画心理
2	6月 こけ玉づくり	7月 認知症講座	6月 ボッチャ	6月 止められる老化のポイント	7月 防災講座
3	7月 最適な「MYライフ&エンディング」を考えよう！	9月 エコクラフト	7月 タブレット講座	7月 お箏の世界 演奏体験	9月 サンキャッチャーづくり
4	8月 ゴミの減量化について	10月 島原城散策(現地)	8月 香と認知症予防 ポプリづくり	9月 パソコンに触れてみよう！	10月 検討中
5	9月 童謡や唱歌を歌いましょう！	11月 グラウンドゴルフ	10月 アサギマダラを見に行こう	10月 検討中	11月 ボッチャ
6	10月 パソコンに触れてみよう！	12月 自然災害に学ぶ	11月 南島原の歴史	11月 グラウンドゴルフ	12月 お正月フラワーアレンジ
7	11月 検討中	1月 検討中	12月 人権学習	12月 健康チェックと体操	1月 古典に親しむ(百人一首)
8	12月 栄養講話と健康チェック	2月 閉講式 古典講座	2月 閉講式 検討中	2月 閉講式 小物づくり	2月 閉講式 日米親善人形について
9	2月 閉講式 世界バックパックの旅				

令和4年度 高齢者学級実施計画（7学級）

回	有明公民館	三会公民館	杉谷公民館	森岳公民館	霊丘公民館	白山公民館	安中公民館
	有明高齢者学級 老人会 (30名)	三会高齢者学級 三会明生会 (30名)	杉谷高齢者学級 杉谷悠友塾 (50名)	森岳高齢者学級 森岳楽生会 (60名)	霊丘高齢者学級 霊丘長寿会 (30名)	白山高齢者学級 白山長生きクラブ (50名)	安中高齢者学級 安中長寿会 (20名)
1	5月 開講式 交通・生活安全	5月 開講式 歴史学習	5月 開講式 軽スポーツ	5月 開講式 交通・生活安全	5月 開講式 交通・生活安全	4月 開講式 交通・生活安全	5月 開講式 交通・生活安全
2	6月 防災講座①	6月 軽スポーツ、健康料理	6月 歴史学習	6月 救急法	6月 研修視察	5月 コグトレ	6月 歴史学習
3	7月 防災講座②	7月 終活	7月 エコクラフト	7月 膝痛・腰痛	7月 エクササイズ	6月 研修視察	7月 睡眠と健康
4	9月 認知症ケア	9月 防災	9月 介護実践	9月 防災講座	9月 フレイル①	7月 ゴミの減量化	9月 コグトレ
5	10月 研修視察	10月 研修視察	10月 研修視察	10月 研修視察	10月 フレイル②	9月 睡眠と健康	10月 グラウンドゴルフ
6	11月 健康体操	11月 睡眠と健康	11月 人権学習	11月 人権学習	11月 SDGs	10月 エコクラフト	11月 研修視察
7	12月 お正月飾り	12月 エコクラフト	12月 健康エクササイズ	12月 SDGs	12月 物づくり	11月 人権学習	12月 お正月飾り
	1月 島原半島の民話	1月 健康エクササイズ	1月 伝承遊び	1月 ボッチャ	1月 人権学習	1月 救急法	1月 人権学習
8	2月 SDGs 閉講式	2月 SDGs 閉講式	2月 食と健康 閉講式	2月 エクササイズ 閉講式	2月 食と健康 閉講式	2月 食と健康 閉講式	2月 SDGs 閉講式

## 【5】文化財・文化事業

### (1) 文化財

島原市内には、国指定5、県指定11、市指定78、計94件の指定文化財と37件の登録文化財が存在する。

今年度も引き続いて文化財の把握・顕彰に努め、価値が認められるものについては島原市文化財保護審議会に諮問し所要の保護策を講じるとともに、開発等の事業と埋蔵文化財保護の調整を実施する。

#### ①国指定史跡「旧島原藩薬園跡」

「旧島原藩薬園跡」については、トイレの水洗化や来客用駐車場を整備するなど年々サービス向上を図っている。

今年度も史跡の保護を第一義としつつ、除草・伐採、植栽の見直しなど、親しまれるような管理・運営に努める。

また、薬園フォトコンテストや薬園跡の薬草教室を開催し、市民への周知、見学者の増加を図る。

#### ②県指定有形文化財「肥前島原松平文庫」

松平文庫においては、貴重な文化財を後世に継承するため、年次計画によりマイクロフィルム化による複写保存を行っており、令和3年度においては6,212コマの複写を行った。今年度も、同程度を複写する予定である。修復作業については2人体制で実施しており、逐次開帳確認の上、虫損の修復等を行っている。また、国文学や歴史学などの諸学界において全国的な知名度があるため研究者等の来所調査の対応も多く、目録の頒布、マイクロリーダーを利用した閲覧などにも対応している。

松平文庫を市民に親しんでもらうため、随時、展示コーナーで資料の展示を行うほか、旧島原藩の記録である「島原藩日記」を翻刻・刊行する。

#### ③県指定史跡「島原城跡」

島原城は、江戸期の城郭遺構や築城技術が残っている点の価値が認められ、平成28年2月に県史跡に指定された。また、この本質的な価値は国史跡級とも評価されていることから、市としては国指定を目指す方針を固め、有識者や県の指導をいただき、島原城跡の保存・活用・整備等に関する現状と課題の把握を行い、今後の基本方針や方向性、方法を明確にするため『長崎県指定史跡島原城跡保存活用計画』を策定した。

#### ④大野原遺跡展示館（縄文の里）

有明総合文化会館地下1階にあり、建設時の発掘調査により出土した遺構模型や土器・石器などを展示している。

遺構の状況から縄文時代後期の土器づくりの工房跡と推測されており、建物跡などの遺構の復元模型やビデオコーナーなどにより利用者の理解を図っている。

#### ⑤有明歴史民俗資料館

島原市指定文化財の「木下家の古文書」「島原木綿」をはじめ、民俗資料の充実を図っており、一般観覧に供するとともに、市内小学生の歴史学習などに利用されている。

## ⑥伝統的建造物群の保護

鉄砲町（上新丁～江戸丁）に残る古い建造物群の保存について、理想とされている下ノ丁、江戸丁、中ノ丁、古丁、北原町の一部、新建の一部を対象として制度を導入するために、地域住民の合意形成が図られるように、建設部等と連携して取り組む。

### ア 国指定文化財

種 別	名 称	所 在	指定日
特別名勝	温泉岳	温泉岳国有林	S27. 3. 29
天然記念物	普賢岳紅葉樹林	温泉岳国有林	S3. 3. 31
天然記念物	野岳いぬつけ群落	温泉岳国有林	S3. 3. 31
史跡	旧島原藩薬園跡	小山町	S4. 4. 2
天然記念物	平成新山	三会・安中温泉岳国有林	H16. 4. 5

### イ 県指定文化財

種 別	名 称	所 在	指定日
史跡	まだれいな銘キリシタン墓碑	山寺町 共同墓地	S2. 11. 8
史跡	島原城跡	城内一丁目	H28. 2. 18
天然記念物 植物	有明町の大樟	有明町大三東	S33. 6. 5
天然記念物	熊野神社の大クス	杉山町	S35. 7. 13
天然記念物	熊野神社の大ムク	杉山町	S35. 7. 13
天然記念物	島原イチゴ自生地	南千本木	S35. 3. 22
有形文化財 歴史資料	混一疆理歴代国都地図	本光寺	H11. 2. 17
有形文化財 歴史資料	日本大地図3鋪（一組）	本光寺	H17. 3. 25
有形文化財 考古資料	景華園遺跡出土の一括遺物 百二十二点	島原図書館	H18. 3. 3
有形文化財 工芸品	刀 折返銘 神氣 附 本阿弥光温 折紙一通	島原城	H19. 8. 31
有形文化財 古文書	肥前島原松平文庫	島原図書館	H25. 3. 25

### ウ 市指定文化財

種 別	名 称	所 在	指定日
史跡	藩主松倉豊後守重政の墓	中堀町 江東寺	S57. 4. 5
史跡	藩主松平家の墓所	本光寺	S57. 4. 5
史跡	御用御清水	城内一丁目	S57. 12. 26
史跡	清水川	天神元町	S60. 6. 6

種 別	名 称	所 在	指 定 日
史跡	平山古墳	有明町湯江	S63. 1. 22
史跡	東空閑城の空濠	有明町大三東境の松	S63. 1. 22
史跡	板倉重昌の供養塔二基	中堀町 江東寺	H4. 9. 3
史跡	流死菩提供養塔	南崩山町	H4. 9. 3
史跡	流死菩提供養塔	三会町	H4. 9. 3
史跡	流死菩提供養塔	田町	H4. 9. 3
史跡	宝篋印塔型流死供養塔	中堀町	H4. 9. 3
史跡	高力忠房・高力清長の供養墓碑二基	萩原一丁目 快光院	H4. 9. 3
史跡	高島回向堂	高島一丁目	H22. 2. 26
史跡	甚三郎山	萩原二丁目	H28. 12. 1
天然記念物 植物	恵里神社の大クス	江里町	S55. 6. 5
天然記念物 植物	オキチモズク	有明町湯江久原山ノ田川	H8. 11. 18
天然記念物 植物	昭和福ハゼ二世木	小山町 薬園内	H11. 4. 9
無形民俗文化財	島原の精霊流しと切子燈籠	市内全域	H11. 4. 9
無形民俗文化財	島原木綿		H22. 2. 26
有形民俗文化財	水権現の力石	大下町	H11. 4. 9
有形民俗文化財	量石	城内二丁目	H11. 4. 9
無形文化財	先踊	白土町	S54. 5. 21
有形文化財 絵図	市川泰朴の解体図	島原城	S50. 12. 25
有形文化財 絵図	島原藩土屋敷図	本光寺	S50. 12. 25
有形文化財 絵図	森岳城図	八幡町 八幡神社	S50. 12. 25
有形文化財 絵図	旧村の地図（三之沢村・東空閑村・大野村）	有明歴史民俗資料館	S63. 1. 22
有形文化財 絵図	菊地能運の肖像	有明歴史民俗資料館	S63. 1. 22
有形文化財 建造物	本光寺山門	本光寺	S50. 12. 25
有形文化財 建造物	キリシタン墓碑	島原城	S57. 4. 5
有形文化財 建造物	キリシタン墓碑	島原城	S57. 4. 5
有形文化財 建造物	切支丹墓碑2基	有明歴史民俗資料館	S63. 1. 22
有形文化財 建造物	隠し十字入地蔵型灯籠	島原城	H1. 12. 13
有形文化財 建造物	切支丹 I HS 符号入平型石碑	城内三丁目	H1. 12. 13
有形文化財 建造物	一石五輪塔一基	寺中町 観音様谷	H4. 9. 3
有形文化財 建造物	一石五輪の塔	有明歴史民俗資料館	H4. 11. 10

種 別	名 称	所 在	指 定 日
有形文化財 建造物	流死人供養塔 (松崎)	有明町大三東	H4. 11. 10
有形文化財 建造物	流死人供養塔 (大原)	有明町大三東	H4. 11. 10
有形文化財 建造物	流死人供養塔 (浜東)	有明町湯江	H4. 11. 10
有形文化財 建造物	定祐の碑	有明町湯江	H4. 11. 10
有形文化財 建造物	金兵衛納経塔	有明町大三東	H4. 11. 10
有形文化財 建造物	天如塔及び玉垣	湊道1丁目	H13. 7. 6
有形文化財 工芸品	涅槃図	中堀町 江東寺	S57. 4. 5
有形文化財 工芸品	壺形土器	宮の町 猛島神社	S58. 6. 6
有形文化財 工芸品	杉谷焼	宮の町 猛島神社	S58. 6. 6
有形文化財 工芸品	鱧口一口	崩山町崩山観音堂	H4. 9. 3
有形文化財 工芸品	日米親善人形(通称リトル・メリー)	島原第一小学校	H28. 12. 1
有形文化財 考古資料	景華園遺跡の支石墓掌石	島原城内	S57. 5. 7
有形文化財 考古資料	景華園遺跡の支石墓掌石	中野町	S57. 4. 5
有形文化財 考古資料	礫石原環状石組遺構	礫石原町	S59. 1. 10
有形文化財 書跡	板倉八右衛門の書簡	有明歴史民俗資料館	S63. 1. 22
有形文化財 書跡	即非筆の書「高岳山」及び同扁額	南柏野町	H4. 9. 3
有形文化財 書跡	隠元筆扁額「獅子吼」一面	中堀町 江東寺	H4. 9. 3
有形文化財 彫刻	弁天像	本光寺	S50. 12. 25
有形文化財 彫刻	十六羅漢石像	本光寺	S50. 12. 25
有形文化財 彫刻	三十番神像	寺町 護国寺	S50. 12. 25
有形文化財 彫刻	地藏菩薩立像	本光寺	S57. 4. 5
有形文化財 彫刻	地藏菩薩立像	本光寺	S57. 4. 5
有形文化財 彫刻	如意輪観世音菩薩座像	本光寺	S57. 4. 5
有形文化財 彫刻	銅造釈迦如来座像	本光寺	S57. 4. 5
有形文化財 彫刻	木造釈迦如来座像	本光寺	S57. 4. 5
有形文化財 彫刻	日蓮上人像	白土町	S57. 4. 5
有形文化財 彫刻	鞆	有明歴史民俗資料館	S63. 1. 22
有形文化財 彫刻	六地藏	有明歴史民俗資料館	S63. 1. 22
有形文化財 彫刻	六時観音	有明町大三東大原	S63. 1. 22
有形文化財 彫刻	観音菩薩	有明町湯江野田 清水神社	S63. 1. 22
有形文化財 彫刻	隠し十字入地藏	南柏野町 晴雲寺	H1. 12. 13
有形文化財 彫刻	猿石	片町	H1. 12. 13



種 別	名 称	所 在	指定日
有形文化財 彫刻	金銅仏千手観音像	萩原1丁目 和光院	H1. 12. 13
有形文化財 彫刻	マリア地蔵菩薩立像「通称マリア地蔵」	山寺町 共同墓地	H4. 9. 3
有形文化財 彫刻	「歓喜天」又は「聖天」一軀	寺町 叶寺	H4. 9. 3
有形文化財 彫刻	地蔵像	有明町大三東	H4. 11. 10
有形文化財 典籍	旧島原藩日記	島原図書館	S58. 6. 6
有形文化財 典籍	旧島原藩日記	島原図書館（宮の町 猛島神社 寄託）	S58. 6. 6
有形文化財 典籍	木下家の古文書	有明歴史民俗資料館	H6. 11. 9
有形文化財 歴史資料	長崎刻煙草	中組町	S54. 10. 15
有形文化財 歴史資料	金刀比羅宮の大木札	中組町	S54. 10. 15
有形文化財 歴史資料	キリシタン資料 母子像	湊道1丁目	S57. 4. 5
有形文化財 歴史資料	旧島原藩薬園跡御神体	宮の町 猛島神社	S58. 6. 6

#### エ 登録文化財

種 別	名 称	所 在	登録日
登録有形文化財 建造物	清水家住宅主屋	上の町	H15. 7. 1
登録有形文化財 建造物	保里川家住宅主屋	上の町	H15. 7. 1
登録有形文化財 建造物	青い理髪館（旧小林理髪館）	上の町	H15. 7. 1
登録有形文化財 建造物	宮崎商店店舗・焼酎蔵・煙突	上の町	H15. 7. 1
登録有形文化財 建造物	中野金物店主屋・防火壁	上の町	H15. 7. 1
登録有形文化財 建造物	猪原金物店主屋	上の町	H15. 7. 1
登録有形文化財 建造物	加藤酒造店舗兼主屋・井戸・門・表土塀・裏土塀	有明町大三東	H20. 10. 23
登録有形文化財 建造物	鶴殿家住宅旧主屋・主屋	上の町	H20. 10. 23
登録有形文化財 建造物	西川家住宅主屋	白土町	H20. 10. 23
登録有形文化財 建造物	小早川家住宅主屋・門・石塀・煉瓦塀	城内二丁目	H24. 2. 23
登録有形文化財 建造物	島原城御馬見所	島原城	H25. 3. 29
登録記念物	旧伊東氏庭園（四明荘庭園）	新町二丁目	H20. 7. 28
登録記念物	小早川氏庭園	城内二丁目	H26. 3. 18
登録有形文化財 建造物	マルイチ葬祭斎場（旧小林家住宅酒蔵）	弁天町1-7118-6	H26. 4. 25
登録有形文化財 建造物	旧伊東家住宅（四明荘）主屋・表門	新町二丁目	H26. 4. 25
登録有形文化財 建造物	しまばら湧水館（旧三村家住宅）主屋・石柱門及び石塀・煉瓦塀	新町二丁目122・一丁目212	H26. 12. 19

種 別	名 称	所 在	登録日
登録有形文化財 建造物	島崎家住宅主屋・離れ	新町二丁目	H28. 8. 1
登録有形文化財 建造物	旧升金商会 店舗兼主屋・事務所兼倉庫	湊新地町	H28. 8. 1
登録有形文化財 建造物	堤内家住宅亭	先魁町	H31. 3. 29
登録有形文化財 建造物	中村家住宅長屋門	萩原一丁目	H31. 3. 29
登録有形文化財 建造物	銀水	白土桃山二丁目	R3. 2. 4

## (2) 文化事業

### ① 自主事業

市民に芸術性の高い優れた舞台芸術に接する機会を提供し、市民文化の向上と地域活性化につなげるための公演等を行う。

#### □ 「肥前しまばら子ども狂言」

5/18 (水)、6/8 (水)・22 (水)、7/8 (金)・27 (水)、8/24 (水)、  
9/7 (水)・21 (水)・28 (水)、10/7 (金)  
10/8 (土) 島原城薪能出演



【肥前しまばら子ども狂言】

### ② 教育委員会主催事業

広く市民から美術作品を公募し、市民の鑑賞と情操豊かな心を養うとともに美術活動を普及するための島原市美術展覧会を、音楽の普及向上と青少年が音楽に親しむ機会を提供するための、市民音楽祭を開催する。

#### □第60回 島原市美術展覧会

出品部門— 絵画、絵手紙、書道、写真、彫刻・工芸、陶芸の6部門 (無審査)

期 間— 令和4年10月19日 (水)～23日 (日)

#### □第43回 島原市民音楽祭

邦楽の部 11月中旬

洋楽の部 11月中旬

## 【6】図書館

### ○島原図書館

島原図書館は、総事業費 371,374千円をもって、昭和60年7月8日から昭和61年3月25日の工期で建設し、昭和61年7月31日に開館した。

管理・運営は、昭和61年4月1日付で設立された(財)島原市教育文化振興事業団に委託し、平成18年4月1日からの指定管理者制度を導入後も、(一財)島原市教育文化振興事業団が指定管理者として管理・運営に当たっている。

- ・令和3年度中の利用者数は、29,287人で、貸出図書数は、148,354冊となっている。
- ・図書貸出用の登録者カード所持者は、島原・有明両図書館共通で令和4年3月末現在53,494人となっている。
- ・主催事業は、子どもたちを対象に「おはなしひろば」7回、「おはなしのじかん」26回、「おはなしのじかん0, 1, 2」9回、一般を対象に月1回「郷土史を学ぼう会」9回を実施した。

その他、季節的な行事として、映画会(夏休み等)、七夕まつりおはなし会、夏休み工作教室、図書館まつり、クリスマスおはなし会を実施し、手作り講座としてお正月リース作り、布の絵本作りを実施した。

また、読書感想画展には、小学生から210点の応募があった。

- ・蔵書数  
一般 89,527冊、児童 34,981冊、郷土 5,552冊、計 130,060冊である。  
なお、雑誌は94種、新聞10紙を備える。
- ・視聴覚資料数  
カセットテープ 1,365本、ビデオテープ 1,444本、DVD 691本、レーザーディスク 233枚、CD 1,293枚を備える。

### 令和3年度島原図書館利用状況

開館日数	一般	児童	雑誌	その他	未登録	公民館	合計
272日	72,122冊	61,479冊	11,202冊	2,219冊	864冊	468冊	148,354冊

### ○有明図書館

有明図書館(愛称こんね)は、平成11年3月に竣工した有明総合文化会館の中に設置されている。平成19年4月1日から(一財)島原市教育文化振興事業団が指定管理者として管理・運営に当たっている。

- ・令和3年度の利用者数は11,164人で、貸出冊数は68,362冊となっている。
- ・主催事業は、子どもたちを対象に「おはなしポケット」9回、「おはなしのじかん」を4回、「わくわく本の広場」8回を実施した。その他、季節的な行事として、夏休み子ども講座、夏休み映画会、図書館まつり、手づくり講座「アクセサリ作り」等を実施した。

両館とも、島原市ブックスタート事業、学校司書ボランティア活動、学校司書への積極的な支援協力、市内各中学校生徒の職場体験学習、教職員の社会貢献活動研修受入も行った。

- ・蔵書数  
一般書54,263冊、児童書28,580冊、計82,843冊である。なお、雑誌は55誌、新聞は7紙を備える。

・視聴覚資料数

ビデオテープ 763本、DVD 412枚、CD 313枚を備える。

令和3年度有明図書館利用状況

開館日数	一般	児童	雑誌	その他	合計
270日	26,223冊	37,434冊	3,396冊	1,309冊	68,362冊



科学教室



こわ〜いおはなし会

## 【7】文化会館

島原文化会館は、総工費 513,022千円をもって、昭和48年2月起工、昭和49年竣工、現在に至っている。管理・運営は、昭和61年4月1日付で設立された（財）島原市教育文化振興事業団に委託している。平成18年4月1日から指定管理者制度を導入したが、（一財）島原市教育文化振興事業団が指定管理者として選定され管理・運営に当たっている。

鉄筋コンクリート造で、地下1階、地上2階建て。施設は、大ホール、中ホール、小ホール、展示ホールA・B（多目的ホール）、会議室、和室がある。音楽、演劇、講演会、舞踊、式典、展示会、その他各種集会に利用されている。

令和4年度は島原市自主文化事業として、引き続き、小・中学生を対象に「肥前島原子ども狂言」を開催する。

有明総合文化会館は、文化会館、図書館、資料館が一体となった複合施設として、総事業費 2,497,698千円をもって、平成10年2月起工、平成11年3月竣工、現在に至っている。

平成19年4月1日から指定管理者制度を導入し、（一財）島原市教育文化振興事業団が指定管理者として管理・運営に当たっている。

鉄筋コンクリート一部鉄骨造りで、地下1階、地上4階建て。施設は、1階に、大ホール、リハーサル室、視聴覚室、研修室、市民ギャラリー。2階に、多目的ホール、会議室、和室、母子室。地下には、会館建設時に出土した大野原遺跡を展示した歴史資料館がある。音楽、演劇、講演会、式典、展示会その他各種集会に利用されている。

### 令和3年度島原文化会館利用状況

ホール別 区分	大ホール	中ホール	小ホール A	小ホール B	展示室 A	展示室 B	会議室	和室	ロビー	計
利用回数	104	118	79	79	106	55	100	44	34	719
利用人数	18,320	6,059	1,274	925	3,180	297	540	301	6,957	37,853

### 令和3年度有明文化会館利用状況

ホール別 区分	大ホール	多目的 ホール	リハー サル室	楽屋	研修室	和室	視聴覚室	会議室	市民 ギャラリー	計
利用回数	69	88	486	55	119	174	113	69	62	1,235
利用人数	6,346	4,886	5,323	479	2,130	2,167	3,484	447	4,820	30,082

## 【8】 島原市少年センター

### (1) 設置の目的

関係機関・団体との連携強化を図り、本市における少年の健全育成を期し、少年の非行を防止する。

### (2) 少年センターの任務

#### ①補導業務の充実

警察の場合は、非行少年等の非行防止が主であるが、少年センターは、子ども達の健全な活動を促すとともに犯罪を犯す以前の不良少年の発見補導を行っている。

#### ②相談業務の充実

#### ③啓発活動の推進

#### ④環境浄化の推進

#### ⑤関係機関・団体との連携・強化

### (3) 少年センターの具体的業務内容

少年センターの職員及び少年補導委員による活動

#### 1. 補導業務の充実をめざす

(1) 学校・地域・関係機関から、青少年の問題行動等の情報を積極的に収集し、非行等の未然防止・健全育成に努める。

(2) 各地区の補導委員と一体となり、「愛の一声」や「あいさつ」運動などの効果的な補導活動の推進を図る。また、青色回転灯装備車の活用を図る。

(3) 学校や地区補導委員・県警補導員との連携のもとに、溜まり場等の実態を把握し、青少年の問題行動の早期発見・未然防止に努める。

(4) 商店街・学校・警察・交通安全協会等と協力して、自転車指導を推進する。

(5) 不審人物等の不穏な行動には、補導委員会を中心にPTAや地区健全育成会等の各種団体と連携して、児童生徒の安全確保に努める。

(6) 長期休業中や各種イベント等に特別街頭補導を実施し、非行等の未然防止・健全育成に努める。

(7) 補導委員幹事会・地区補導委員会を計画的に実施し、情報交換や効果的な補導業務の研修を行い、補導委員の資質の向上に努める。

(8) 県補導委員研修会に積極的に参加し、本市の補導業務の活性化に生かす。

#### 2. 相談業務の充実をめざす

(1) 「来所・訪問・電話等の相談業務」を広報等で機会あるごとにPRし、相談体制をつくる。

(2)「明るい相談室」づくりに努める。(人的・物的環境づくり)

(3)心の教室相談員・家庭児童相談員・適応指導教室相談員・主任児童民生委員等との連携を図り、いじめや不登校児童生徒等の相談に積極的に取り組む。

(4)相談の指導技術向上のための研修に努める。

### 3. 啓発活動の推進をめざす

(1)「少年の日」(毎月1日)および「家庭の日」(毎月第3日曜日)の趣旨を広報車やセンターだより・各種会合等で積極的に広報する。また、各地区公民館に「少年の日」「家庭の日」の立て看板を設置し、市民にPRを図る。

(2)「少年センターだより」を発行し、小・中学校(14校)の全世帯および関係団体・機関に配布し、青少年の健全育成・非行防止の啓発に努める。

(3)各種会合に出席し、関係団体との連携に努める。

### 4. 環境浄化の推進をめざす

(1)立入調査権限の移譲により、少年センターがリーダーシップをとり、関係機関(島原警察署生活安全課・県こども未来課)や、高校の少年補導委員との連携を図り、定期的に有害な図書等の環境実態調査を実施し、各書店・業者に環境浄化の協力を要請する。

(2)少年補導委員は、街頭巡回補導をしながら、有害な環境の実態を把握し、必要に応じて関係機関(同上)への改善を要請する。

(3)カラオケボックス等の出入りについて、各学校等の「きまり」や「申し合わせ事項」に基づいて指導を行う。

(4)白ポスト(中央公園、島原港、有明文化会館)投棄物の回収を定期的に行い、必要に応じて適切な措置をとる。

(5)公園・河川敷・駅舎等を巡回し、環境整備・美化を呼びかける。

## (4) 少年センター概要

・ 主管部局 島原市教育委員会 社会教育課

・ 設 置 昭和46年8月2日に島原市教育委員会内に設置  
昭和57年11月1日に森岳公民館内に移設

・ 設置場所 島原市城内一丁目1177番地イの第3

・ 職員構成 所長1(兼任)社会教育課長、次長1(兼任)学校教育課長  
指導監1(専任・非常勤)、相談員1(兼任・非常勤)、職員6(兼任)

・ 令和4年度予算額 4,582,000円

・ 少年センター運営協議会 委員14名

・ 少年補導委員 62名(教員24名、一般38名 内女性8名)

・ 計画補導 月1～3回(昼夜各1回)

- ・ 特別補導 各種年中行事や長期休業中、土曜夜市等
- ・ 自主補導 随時・緊急時（1～3名）



島原市少年センター補導委員会



環境浄化用白ポスト（中央公園）



## 9 スポーツ

### 【1】目 標

スポーツの振興については、社会体育関係団体との連携を密にし、指導体制の確立とスポーツ施設の充実に努める。特に各種スポーツ大会の開催、体力づくり運動推進など実践活動の機会の拡充を図り、生涯にわたりスポーツをとおして心身の健康保持増進と明るい市民生活の向上に努める。

また、子ども達が将来に向かって「夢・憧れ・志」を持つことの大切さを学ぶ機会を提供し、ジュニアスポーツの活性化に努める。

#### (1) スポーツ推進委員

スポーツ推進委員に41名を委嘱し、全市及び各地区のスポーツ行事・体力づくりの企画運営にあたる。

○主な活動内容

- ・全市的なスポーツ行事の運営（市民体育祭等）
- ・地区運動会等の企画運営
- ・地区ソフトボール大会、バレーボール大会、駅伝大会、オリエンテーリング大会、レクリエーション大会等の開催
- ・地区各機関との連絡調整

#### (2) 市民体育祭・地区運動会及び各種大会

- ・市民体育祭は、各種競技会と大運動会を開催する。
  - ・地区運動会は、町内会、自治会、青年団、スポーツ推進委員、公民館が中心となり、安中、杉谷、三会の3地区で盛大に開催される。
- また、各種大会は、ソフトボール大会、バレーボール大会等が各地区で開催される。

#### (3) 各種大会

島原市民及び島原市で勤務する者を対象とした各種大会が、教育委員会、スポーツ協会、スポーツ推進委員の指導により開催され、地域の仲間づくり、健康・体力づくりに寄与し、基本的な技術を習得させると共に愛好者の拡大、競技人口の底辺拡大が図られる。

・各種大会

教育委員会主催が8大会、スポーツ協会加盟団体主催等を含めると年間200回程度の各種競技大会が市内で開催されている。

#### (4) 夢の教室及びジュニアスポーツ振興事業

子ども達が将来に向かって「夢・憧れ・志」を育む機会を提供し、ジュニアスポーツの活性化に努める。

##### ・夢の教室

全小学校の5年生及び全中学校2年生を対象に日本サッカー協会が派遣する「夢先生（現役アスリート等）」招へいし、夢をもつことの素晴らしさ、それに向かって努力することの大切さを学ぶ授業を開催する。※中学校2年生は令和4年度から追加（令和2年度～令和4年度は新型コロナウイルス感染症の現状を鑑み、オンライン形式で継続することとした。）



##### ・ジュニアスポーツ振興事業

小中学生15名を日本体育大学に派遣し、オリンピックなどのトップレベルの指導者等から講義や実技指導を受け、児童生徒の意識高揚を図り、更なるスポーツ振興や競技力の向上に努める。（令和2年度～令和4年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により、本市の児童・生徒への感染リスクが伴うことから中止した。）

**【2】島原市体育施設利用状況(令和3年度分)**

施設名	内容	利用者数	備考
島原市霊丘公園 体育館・弓道場	体育館	34,139	バレーボール・卓球・バドミントン ・体操等
	弓道場	11,948	
霊丘公園運動広場		11,359	ソフトボール・ゲートボール サッカー・グラウンドゴルフ
	夜間照明施設	0	
島原市立有馬武道館		4,771	空手・剣道・柔道・レスリング
島原市立温水プール		15,978	
島原市営球場		6,899	野球・レクリエーション・遠足等
島原市営陸上競技場		17,666	
島原市営庭球場	霊丘公園		7,456
		夜間	560
	総合運動公園		29,045
		夜間	7,716
島原市立屋内相撲場		377	
霊丘公園相撲場(屋外)		0	
島原市立第二中学校	夜間照明施設	73	ソフトボール・野球・サッカー等
島原市営杉谷運動広場		515	ソフトボール・サッカー・ゲートボール等
島原市営安中運動広場		12,076	ソフトボール・サッカー・ゲートボール等
島原市営三会ふれあい運動広場		8,659	ソフトボール・野球・サッカー・ゲートボール・遠足等
島原市立れいなん会館		7,241	
島原復興アリーナ		67,194	バレーボール・バドミントン・バスケットボール・卓球
平成町多目的広場		38,169	サッカー・ラクビー・グラウンドゴルフ・遠足等
有明プール		25,407	
有明体育館		8,029	バレーボール・バドミントン・卓球
有明弓道場		186	
有明青少年武道館		6,931	空手・剣道・柔道・レスリング
島原市有明の森運動公園	有明の森運動場	4,928	ソフトボール・野球・サッカー等
	夜間照明施設	740	
有明大野浜運動場		15,934	ソフトボール・サッカー・ゲートボール等
平成町人工芝グラウンド		79,397	サッカー・ラクビー・グラウンドゴルフ・遠足等
計		423,393	

**【3】島原市スポーツ少年団(令和4年度)**

	団 数	団 員 数 ( 地 区 別 )							全 域	合 計
		森岳	霊丘	白山	杉谷	安中	三会	有明		
サ ッ カ ー	9	33	14	17	18	19	14	40	92	247
バ レ ー ボ ー ル	13	31	9	23	12	29	13	56		173
バ ス ケ ッ ト ボ ー ル	2	15	24							39
ソ フ ト ボ ー ル	10			17		27	32	43	45	164
レ ス リ ン グ	2							22	13	35
剣 道	3			18				26	8	52
空 手	2							23	18	41
ラ グ ビ ー	1								43	43
柔 道	1								11	11
軟 式 野 球	1							15		15
相 撲	1							0	7	7
計	45	79	47	75	30	75	59	225	237	827

## 10 一般財団法人島原市教育文化振興事業団

### 【1】設立目的

この法人は、島原市の指定及び委託を受けて、島原市が設置する教育文化施設等の管理・運営を行い、もって島原市の教育と文化の発展及び社会における非営利セクターの役割の向上に寄与することを目的とする。

昭和61年3月31日設立

平成25年4月1日改組

基本財産 1千万円

理事定数 3名以上 10名以内

監事定数 2名以上 3名以内

評議員定数 3名以上 7名以内

### 【2】受託事業等

昭和61年4月1日	島原図書館の管理運営
昭和62年4月1日	島原文化会館の管理運営
〃	島原市が設置する体育施設の管理運営（体育館、武道館、温水プール、弓道場）
平成9年4月1日	島原市が設置する体育施設の管理運営（陸上競技場、市営球場、庭球場）
平成11年4月1日	島原市学校給食調理場業務
平成11年6月8日	島原勤労者総合福祉センターの管理運営
平成12年8月1日	島原復興アリーナの管理運営
平成13年4月1日	島原市立屋内相撲場の管理運営
平成15年4月1日	島原市営平成町多目的広場の管理運営
平成18年4月1日	島原文化会館、島原図書館、島原市体育館、島原市営陸上競技場、島原復興アリーナの指定管理者の指定を受ける
平成19年4月1日	有明文化会館、有明図書館の指定管理者の指定を受ける 有明学校給食センター調理業務
平成21年4月1日	島原文化会館、島原・有明図書館、島原市体育館他、島原市営陸上競技場他、島原復興アリーナ他の指定管理者の指定を受ける
平成22年4月1日	有明文化会館の指定管理者の指定を受ける
平成25年4月1日	一般財団法人へ移行 有明文化会館の指定管理者の指定を受ける
平成26年4月1日	島原文化会館、島原・有明図書館、島原市霊丘公園体育館・弓道場他、島原市営陸上競技場他、島原復興アリーナ他の指定管理者の指定を受ける
平成29年4月1日	島原文化会館、島原市霊丘公園体育館・弓道場他、島原市営陸上競技場他、島原復興アリーナ他の指定管理者の指定を受ける
平成30年4月1日	有明文化会館他の指定管理者の指定を受ける (一財)島原市学校給食会設立に伴い、学校給食調理業務を移管
平成31年4月1日	島原・有明図書館の指定管理者の指定を受ける
令和4年4月1日	島原文化会館、島原市霊丘公園体育館・弓道場他、島原市営陸上競技場他、島原復興アリーナ他の指定管理者の指定を受ける

### 【3】運営経費 運営に要する経費は、島原市から補助金、及び指定管理料として交付される。

(令和4年度)

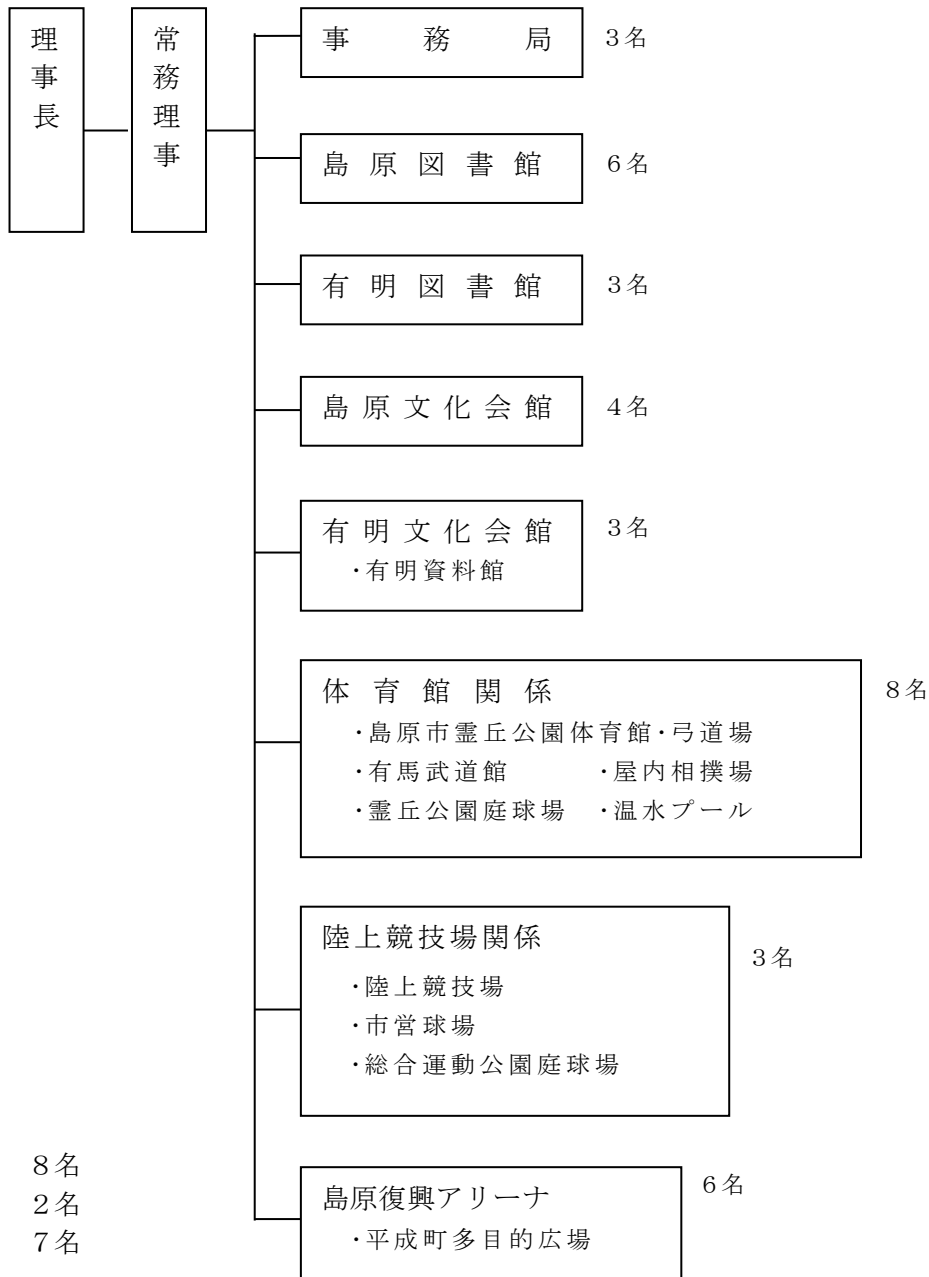
運営費補助金	16,473,000円
図書館指定管理料	52,406,000円
島原文化会館指定管理料	37,204,000円
有明文化会館他指定管理料	37,541,000円
霊丘公園体育館・弓道場他指定管理料	50,556,000円
陸上競技場他設指定管理料	20,776,000円
島原復興アリーナ他指定管理料	60,348,000円
(合計)	275,304,000円

**【4】職 員**

事務局	3名	島原図書館	6名
有明図書館	3名	島原文化会館	4名
有明文化会館	3名	島原市体育館・弓道場	8名
陸上競技場	3名	島原復興アリーナ	6名
		(合 計)	(36名)

一般財団法人 島原市教育文化振興事業団 組織図 (令和4年4月1日現在)

所在地 島原市有明町大三東戊1438番地1 〒859-1415  
 電話番号 0957-68-5133



役員  
 理事 8名  
 監事 2名  
 評議員 7名

# 1 1 一般財団法人島原市学校給食会

## 【1】設立目的

学校給食の円滑な実施と運営を図り、児童生徒の健全な心身の発達と豊かな食生活を実現するとともに、学校給食を通じた食育の推進と地産地消の推進及び、広く市民の健全な食生活の実現に寄与することを目的とする。

昭和30年4月1日設立  
 基本財産 3百万円  
 設立者 島原市長 古川 隆三郎  
 理事定数 3名以上10名以内  
 監事定数 1名以上 3名以内  
 評議員定数 3名以上 7名以内

## 【2】受託事業等

- (1) 学校給食費の徴収に関すること
- (2) 学校給食用物資の調達及び供給に関する事業
- (3) 学校給食の調理に関する事業
- (4) 学校給食用物資の安全性の確保に関する事業
- (5) 学校給食の実施上必要な講習会、研究会に関すること
- (6) 学校給食を通じた食育の推進に関する事業
- (7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

## 【3】運営経費 運営に要する経費は、島原市から補助金、委託料として交付される。

(令和4年度)

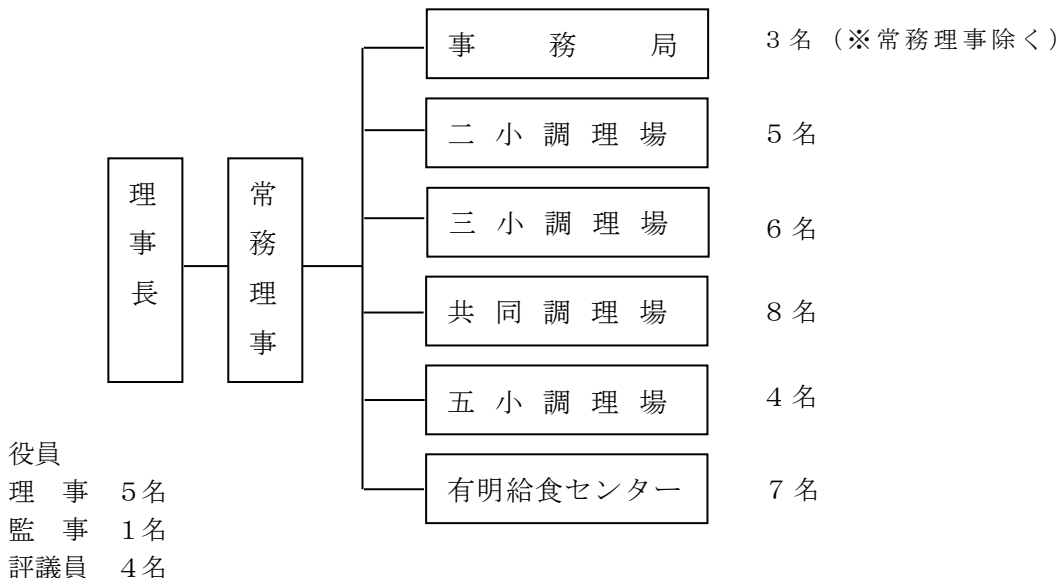
運営費補助金	18,794,000円
学校給食業務委託料	120,995,000円
(合 計)	139,789,000円

## 【4】職 員

事務局	4名 (※コーディネーター1名)
学校給食調理場	29名 (※他臨時職員3名、代替調理員8名)
(合 計)	33名

### 一般財団法人 島原市学校給食会 組織図 (令和4年4月1日現在)

所在地 島原市有明町湯江丙383番地1 〒859-1403  
 電話番号 0957-68-2750



いのち

「生命・きずな・感謝の心」を大切に

進んで

元気な

あいさつを！



島原市教育委員会